

セーフティ・アクション

Safety Action

高校生の交通安全教育

21

生徒用配布資料

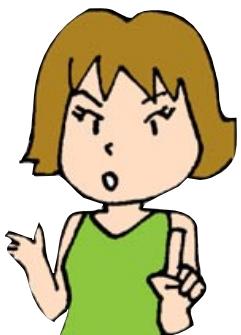
目 次

- No.1** 交通社会人としての自覚はできている?
- No.2** 自転車は歩行者? それとも車両?
- No.3** 路上ではみんなパートナー
- No.4** 一時停止標識があるところでは自転車も停まらないといけない?
- No.5** 二輪車は、四輪車に見せる・見られる運転が大事
- No.6** 車に乗せてもらうのは楽しい。でも危険もある
- No.7** この画面の中にどんな危険がありますか?(自転車乗用中)
- No.8** 事故にあったらどうする? 事故を見たらどうする?
- No.9** 違反や事故はあなたの人生設計に影響を与える
- No.10** 高齢者とよいパートナーシップ
- No.11** 上手に運転してるので、危険な運転といわれる。どうして?
- No.12** この画面の中にどんな危険がありますか?(原付運転中)
- No.13** 事故現場であなたができること
- No.14** 通学路の危険個所マップづくり
- No.15** 四輪車の免許を持つことは、プラス、マイナスの両面がある
- No.16** エコロジーと車の運転
- No.17** 路上でよいコミュニケーションをとれることが、よいドライバーの条件
- No.18** 運転はいろいろなものに影響される
- No.19** 友達を車に乗せるということは、友達の命を預かるということ
- No.20** 車の速度と自己過信(四輪車)
- No.21** この画面の中にどんな危険がありますか?(四輪車運転中)



ナンバーは高校教師用参考資料の各章に対応しています。

交通社会人としての自覚はできている？



高校生になると、中学生より、交通事故の死傷者数が2倍に増えるんだよ。また、被害者だけでなく、自分が加害者になることだってありうるんだってことがわかったかな？

まとめクイズ

Yes、Noのどちらかを選んでください

Q1. 高校生になると交通事故死傷者数が増えるが、理由の1つは、二輪車や四輪車の免許を取得できる年齢になり、運転中に事故にあうケースが出てくるからだ。

Yes **No**

Q2. 自転車と四輪車、自転車と歩行者など、自転車が関係した事故のほぼ100%が、自転車に乗っていた人に非はない。

Yes **No**

Q3. 18歳では、四輪車運転中と四輪車同乗中の交通事故死傷者数はほぼ同じである。

Yes **No**

Q4. 免許取得後1年未満の初心運転者は慎重に運転するので、熟練者より事故が少ない。

Yes **No**



→解答は次ページに！



まとめクイズの解答と解説

Q1. Yes

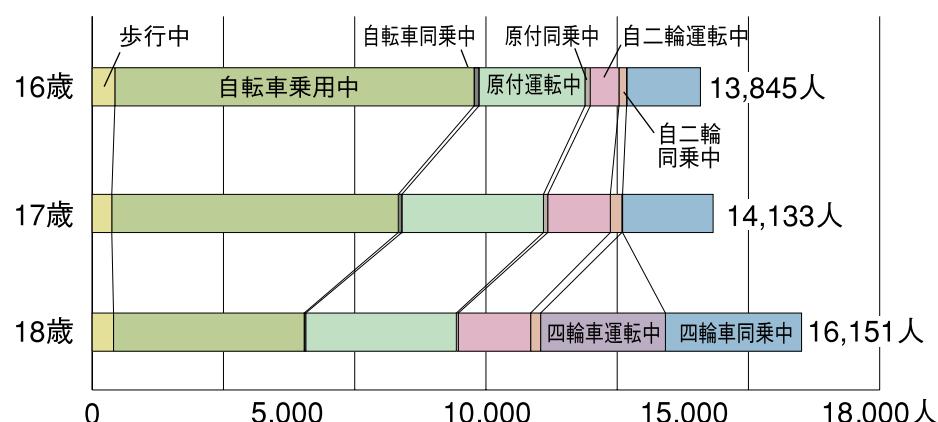
16歳の誕生日から原付、普通二輪車の免許が取れ、18歳の誕生日から普通自動車、大型二輪車の免許が取れ、運転するようになるので、二輪車、四輪車運転中の事故が増えます。

Q3. Yes

死傷者数は、16歳（高校1年生年代）では自転車乗用中がトップ。18歳（高校3年生年代）では四輪車に乗っているときがトップで、運転中と同乗中がほぼ同じです。自分で運転するときだけでなく、友だちや先輩に乗せてもらうときにも、十分気をつけることが必要です。

（下のグラフ参照）

グラフ1 16～18歳の状態別死傷者数



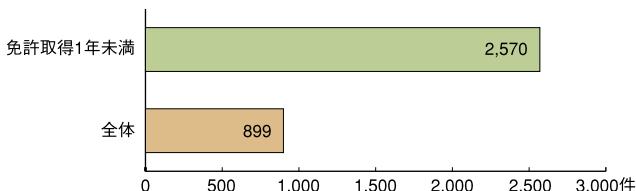
（財）交通事故総合分析センター 平成20年

コラム 1

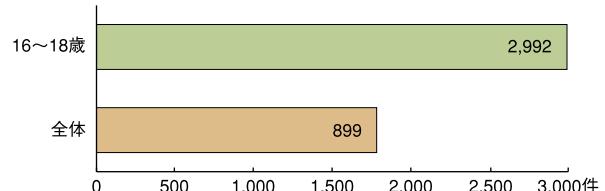
初心運転者と事故

免許を取ったばかりの人や16～18歳（高校生年代）は事故を起こしやすいのです。

グラフ2 免許保有者10万人あたりの交通事故件数（1当[※]）



グラフ3 運転者の10万人あたりの交通事故件数（1当[※]）



※1当：加害者

（財）交通事故総合分析センター 平成20年

●交通社会人として自覚をもとう！

高校生年代は二輪車や四輪車との素晴らしい出会いがありますが、加害者として事故に関わるケースも増えています。

高校生の交通事故の37%が「加害事故」

高校生になると、自転車での行動範囲も広がり、二輪車、四輪車に乗ることもあります。そのため、加害者として事故に関わる比率が、中学生年代では約20%なのに対して、高校生年代では約37%にまで高くなります。

交通事故で人を死傷させると、高校生も、刑事責任（懲役や禁錮など）、行政責任（免許の取り消しや減点など）、民事責任（損害賠償責任）という3つの責任を問われます。ただし、刑事责任については、大人（成人）と異なり、「少年法」に基づき処理されます。これは「刑罰」によってではなく、「教育」によって対処しようという考え方のためです。

自転車事故でも賠償責任がある

最近、自転車乗用中の高校生が、歩行者を死傷させるといった加害事故が目立ちます。免許を必要としない自転車ですが、事故を起こして加害者と判定されると賠償責任が問われます。たとえば女子高校生が夜間、携帯電話を操作しながら無灯火で（道交法違反）走行中、前方を歩行中の女性と衝突し、女性



自転車に乗っている高校生が加害者になるケースが増えています

に重大な障害が残った事故では、この高校生に5,000万円の損害賠償金が請求されています。この場合、高校生が社会人になって給与の中から毎月支払うか、もしくは、その監督義務者（多くは親）に賠償請求され、親が支払うケースもあります。

また、法律上の3つの責任以外に、「道義的責任」もあり、加害者として、被害者の気持ちを考えて誠実に対処しなくてはいけません。

コラム 2

大人の場合の刑事责任

二輪車や四輪車、自転車運転中に相手を死傷させると以下のような刑罰があります。
交通死傷事故で、刑事事件として起訴されるのは100件中約11件です。

事故	運転者	刑罰	禁錮、懲役
交通事故で相手を死傷させる	四輪車 二輪車	過失運転致死傷罪	7年以下の懲役 ^{*2} もしくは禁錮 ^{*3} または100万円以下の罰金
	自転車	重過失致死傷罪	5年以下の懲役 ^{*2} もしくは禁錮 ^{*3} または100万円以下の罰金
悪質、危険な運転で死傷事故を起こす ^{*1}	四輪車 二輪車	危険運転致死傷罪	負傷／15年以下の懲役 死亡／1年以上20年以下の懲役

- *1 悪質、危険な運転とは以下をさす
 - ・アルコールや薬物等の影響
 - ・制御不可能な高速度による運転
 - ・他車や歩行者などの通行妨害を目的とする危険な割り込み
 - ・危険な速度での信号無視
- *2 懲役 刑事施設に拘置して所定の作業を行わせる
- *3 禁錮 刑事施設に拘置する



新聞や本などの資料、インターネットなどを使って、調べて考えてみましょう

- ・中学生のときと比べて、自分の交通行動でどんなところが変わったと思いますか？ →

- ・自分の知っている人で事故にあった人はいますか？ →
　　どんな事故でしたか？
　　それを聞いてどう思いましたか？

- ・二輪免許取得、普通免許取得について、あなたの学校の規則ではどうなっているかを調べてみましょう。 →



MESSAGE

交通は相手がいる。他人のことを考えるのが基本

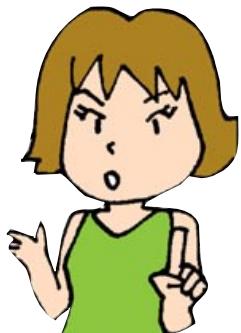
吉田螢一郎 日本体育大学名誉教授 日本安全教育学会会長

教習所では、知識や技術については、丁寧に教えてくれます。確かにそれも重要ですが、それだけでは良いドライバーにはなれません。運転には、他にも「セルフコントロール」や「相手のことを思いやる気持ち」が必要となります。

交通には、まず、相手があります。相手が次にどういった行動をとるのか、それを常に予測しながら動く必要があります。日常生活において、自分のことしか考えていない人は、すぐに事故を起こしてしまいます。

たとえば私が歩道を歩いていると、自転車に「よけてくれ」といつもベルを鳴らされます。本来、歩道では、自転車が優先なのではなく、歩行者の妨げとならない限り歩道を通行してもいい、というものなのです。相手を思いやり、ゆずりあうということを、ぜひ日常生活でも実践してください。

自転車は歩行者？ それとも車両？



自転車は「軽車両」といって、二輪車や四輪車と同じ「車両」の仲間なんだよ。だから道路交通法に違反すると罰則の対象になる、っていうことを頭に入れておくように。

まとめクイズ

Yes、Noのどちらかを選んでください

**Q1. 自転車は車道を走ってはいけない。
常に歩道の真ん中を走行すべきである。**

Yes **No**

**Q2. 自転車でも走行中に歩行者にケガをさせたりすると、
多額の損害賠償額を請求されることがある。**

Yes **No**

**Q3. 片手運転や傘さし運転は自分が危ないだけで、
別に道交法違反ではない。**

Yes **No**

Q4. 自転車でも酒に酔って運転してはいけない。

Yes **No**



→解答は次ページに！



まとめクイズの解答と解説

Q1. No

「軽車両」である自転車は、原則として車道を走ることが決められています。ただし「自転車通行可」の標識のある歩道は通行することができます。その場合、歩道の中央でなく車道寄りを徐行しましょう。歩行者の進行を妨げそうなときは、一時停止してください。



Q2. Yes

高校生が乗る自転車が、年配の女性が運転する自転車とぶつかり、女性が転倒して死亡。自転車に乗っていた高校生に3,000万円以上の賠償金が請求された例もあります（コラム2）。

Q3. No

「車両の運転者は、ハンドル、ブレーキその他の装置を確実に操作しなければならない」と道路交通法（以下「道交法」）第70条で定められています。自転車も車両です。違反して逮捕されると、3カ月以下の懲役または5万円以下の罰金が課されます。



Q4. Yes

道交法では、「酒気を帯びて車両等を運転してはならない」と定めています。酒酔い運転の罰則規定は、5年以下の懲役または100万円以下の罰金。

自転車は、
二輪車や四輪車と同じ
「車両」の1つです。

コラム 1

交通安全意識調査(全国の高校生 5,417人)

自転車が「車両」であることを知らない高校生は意外に多いのです。

自転車は自動車と同じ車両として道交法に従って乗らなければいけない

知っていた 53.3% 知らなかった 46.0% 無回答 0.7%

自転車は左側通行をしなければならず、違反すると罰則がある

知っていた 36.8% 知らなかった 62.1% 無回答 1.1%

自転車が原因で他人に負傷させた場合、
どんな責任を取らなければならないか知っていますか

よく知っている 4.5% だいたい知っている 23.4% ほとんど知らない 70.4% 無回答 0.8% その他 0.9%

交通安全推進委員会調査 平成15年

●自転車は歩行者ではなく車両の一部

自転車は「軽車両」。道路では左側通行、通行可の歩道では歩行者の妨げにならないよう徐行する、などのルールを守りましょう。

傘さし運転も違法です

自転車は道交法では軽車両に分類され、四輪車や二輪車と同様に「車両」の1つ。「他人に危害を及ぼさないような速度と方法で運転する義務があり」(道交法第70条)、守らなければ厳しく責任が問われます。事故を起こして加害者(第1当事者)になった場合、損害賠償を求められることになります。

また、四輪車などと事故になり、被害者(第2当事者)になったとしても、自転車側に「傘さし運転」(片手運転)、「無灯火」、「道路の右側通行」などの道交法違反があると、たとえ四輪車が信号無視をしてぶつかった場合でも、自転車側にも過失があるため、損害賠償が100%支払われないということになります。

自転車でも加害者になると賠償責任が発生

最近では、自転車が加害者(第1当事者)として関わる事故(自転車対歩行者、自転車同士)が増えています(コラム2)。高校生が加害者になった自転車の死傷事故では、刑事責任が問われ、少年法に基づいて検察庁から家庭裁判所に送られ、調査の上、審判が行われます。高校生でも多額の損害賠償が請求されれば、次のように支払う義務があります。



携帯電話をかけながら、傘さし運転は道交法違反です

- ・社会人になってから給与から毎月支払う
- ・責任無能力者が責任を負わない場合は、監督義務者が損害を賠償する責任を負うという民法第714条により、加害者の高校生の親が支払わねばならないこともある。

自転車は気軽に乗れて便利ですが、四輪車と同様、人を傷つけることもあるということを十分に意識しておきましょう。

コラム 2

高校生の自転車事故のケース

1.女子高校生が夜間、携帯電話を操作しながら無灯火で走行中、年配の女性と衝突。女性に重大な障害が残った。

→損害賠償額 5,000万円

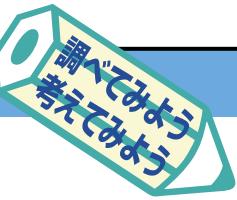
2.男子高校生が朝、赤信号で交差点の横断歩道を走行中、高齢の男性が運転するオートバイと衝突。男性は頭蓋内損傷で死亡した。

→損害賠償額 4,032万円

3.男子高校生が朝、自転車で歩道から交差点に無理に進入し、高齢の女性が運転する自転車と衝突。女性は頭蓋骨骨折で死亡した。

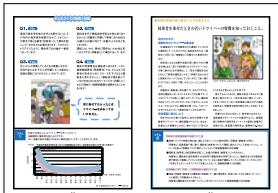
→損害賠償額 3,138万円

*資料 日本損害保険協会



新聞や本などの資料、インターネットなどを使って、調べて考えてみましょう

- ・自宅や学校周辺の歩道に「自転車通行可」の標識はありますか？ それはどこですか？



- ・自宅や学校周辺の交差点に「自転車横断帯」のある交差点はありますか？ それはどこですか？



- ・なぜその歩道が「自転車通行可」になっているのか、
その交差点に「自転車横断帯」があるか、考えてみ
ましょう



自転車のルールを知ろう

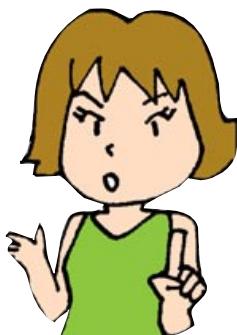
吉岡耀子（株）JAF MATE社 出版部長

MESSAGE

自転車は交通弱者だと思われていますが、人を傷つけた場合には、賠償責任が生じてきます。そういう立場なのだ、ということをぜひ知ってもらいたいと思います。自転車に乗る中・高校生は交通ルールを知らないだけでなく、知らないのにスピードを出している。「あなた達には責任がある。場合によっては加害者になることもある」ということを伝えたいのです。

歩くところから始まって、人が初めて使うスピードの出る乗り物が自転車です。スピードでは、車と歩行者のちょうど中間のところに立つ乗り物です。車道に降りれば車とのかかわりがあり、歩道であれば歩行者への気配り、自転車同士のやりとり、スピードコントロールなどの問題が出てきます。これらに加えて、交通ルールも知っておく必要があります。歩くスピード以上のスピードがあるもの、機械を操るということでは、二輪車や四輪車の免許取得前に、まずは自転車についての基本ルールを知っておくことが大切です。

路上ではみんなパートナー



視覚障害者、車イス利用者が
路上で何に困っているか、想像してみましょう。

まとめクイズ

Yes、Noのどちらかを選んでください

Q1. 困っている視覚障害者の手助けをするときは、
その人の腕や身体に触れる前に、
まず声をかける。

Yes **No**

Q2. 近くに視覚障害者がいないときは、
歩道などにある点字ブロックに、
自転車を駐輪してもよい。

Yes **No**

Q3. 駐車場の身障者用スペースに、
健常者が車を駐車できないよう、
パイロンを置いておく。

Yes **No**

Q4. 車イスの人と自転車ですれ違うときは、
なるべく急いで通り過ぎる。

Yes **No**



→解答は次ページに！



まとめクイズの解答と解説

Q1. Yes

下のコラム1を参照してください

Q3. No

身障者用の駐車スペースに平気で車を停める健常者がいます。それを防ぐためパイロンなどを置いておきます。そこまではよさそうですが、いざ車で来た身障者が利用しようとすると、パイロンがじゃまで使えなくなります。
身障者用の駐車スペースは、常にあけておくようにしましょう。



スペース確保のためにパイロンが置かれている駐車場。
身障者の方には不便です

Q2. No

下のコラム1を参照してください

Q4. No

思いやりの気持ちとは、相手の身になって、考え、相手を驚かさないように、相手が喜ぶように行行動することです。歩道など狭い道で車イスの人とすれ違うときは、前で止まって待ちましょう。追い越すときは、自転車を降り、車イスの動きを見ながら、そばをゆっくり通過しましょう。



車イス利用者の横を自転車で通るときは、止まって待ちましょう

コラム 1

知っておきたい「障害者の困ること」①

●視覚障害者の歩行

全盲の視覚障害者は白い杖や、音や匂いといった周囲の状況を頼りに歩いたり、道路を横断したりしています。急に腕をつかまれたり、押されたりすると、びっくりしてしまいます。手を差し伸べるときは、必ず一声かけてからにしましょう。

●点字ブロックを邪魔してない?

点字ブロックは視覚障害者にとって大切なのですが、自転車が置かれていたり、その上で立ち話をしていたりすると、本来の目的どおりに使用できません。点字ブロックの上と左右50cmは開けておきましょう。

●知っていますか？ 障害者が困っていること

点字ブロックはふさがない。

歩道は歩行者だけでなく、車イスだって通ります。

視覚障害者の場合

視覚障害者は、杖を頼りに歩行しています。通り慣れた道ならかなりの速度で、杖を強くたたくようにしながら歩いています。そこへ違法に歩道に乗り上げて駐車した車などがあると、杖で車を傷つけたり、杖が折れるといったトラブルが起こります。また、視覚障害者の5人に1人が、開いているハッチバックや車からはみ出した積載物などにぶつかってケガをする経験をしたことがある、と答えています。

また、点字ブロックの上を歩こうとして駐輪中の自転車を倒してしまった場合、自分一人では起こせず、「すみません」といいながら周りの人に助けてもらうことになります。「自分は悪くないのに」と不快に思っている視覚障害者も実は多いのです。点字ブロックの上をずっと歩いていると足が疲れるので、点字ブロックを杖で確かめながら、その横を歩く人もいます。点字ブロックの上だけでなく、左右50cmはふさがないように、というのはそのためです。

車イス利用者の場合

車イスは幅があるため、車道に乗り上げて駐車している車や、迷惑駐車の自転車などがあると、歩道を



上／開いたままのハッチバックは危険

下／点字ブロックの上に自転車は置かないこと

通行できません。車道に出るにも、段差がある場合は、段差のないスロープまでいったん戻らなければなりません。しかも車道を車イスで移動するのは大変危険です。歩道は歩行者だけでなく、車イスで通る場合もあるということを理解しておきましょう。

コラム 2

知っておきたい「障害者の困ること」②

●車イス利用者

車イスで歩道を通行中、歩道に乗り上げて駐車している車があると、また段差のないところまで戻って、車道に出なければならず、大変危険です。

また、段差で困っている車イスを押すときには、必ず一声かけてからにしましょう。

●身障者用駐車スペース

身障者用駐車スペースは入り口に近い、といった便利な場所にあるだけでなく、車イス利用者でも使用できるよう、十分な広さがとっています。通常の駐車スペースでは、隣の駐車車両との間に十分なスペースがなく、車イスが出せないためです。



新聞や本などの資料、インターネットなどを使って、調べて考えてみましょう

- あなたの家の近くには、身障者用の駐車スペースのある施設はありますか？ どこに、どのように使われていますか？



- 通学路の中で、段差があって車イスだと大変だと思うところはどこですか？



- 点字ブロックの上に自転車などが置かれている場所がないか、振り返ってみましょう。



- あなたの周りに、視覚障害者や、車イスを利用する方がいたら、交通で何に困っているか、たずねてみましょう。



MESSAGE

「思いやり」ではなく、まず「知ること」から始めよう

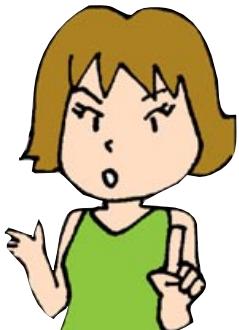
徳田克己 筑波大学社会医学系教授、臨床心理士

障害者について「思いやり、福祉の心を持って接しよう」とよくいわれます。「思いやり」とは何でしょうか？

私の大学では、地域のボランティアの人たちが、視覚障害の学生に図書館で朗読サービスをしてくださっています。私の研究室にも視覚障害の学生がいて、ボランティアの方が研究室まで学生を迎えに来てくださいます。「どうして迎えに来られるのですか」とたずねると、「思いやりだから」との答え。別のボランティアの方は「自分で来てください」といます。その方は「世の中には危険なところが多いので歩く練習をしておかないといけない。大学の中はそれほど危なくないから、大学の中では歩く練習をしておくべきです。だから時間がかかるても、研究室から図書館まで歩いてくるように」というのです。それが思いやりだと思うのです」とおっしゃる。

同じ「思いやり」の気持ちからといって、まったく正反対の行動に出ることもあるのです。自分なりの「思いやり」を押し付けるのではなく、障害者が、実際の交通場面で何に困っていて、どんな手助けを必要としているのか、ということをまずは具体的に知ってほしいと思います。

一時停止標識があるところでは自転車も停まらないといけない？



高校生年代の自転車事故の72%は
交差点で起きているんだよ。
一時停止標識や停止線など
自転車にも適用される標識をきちんと守ろう！

まとめクイズ

Aのスペースに答えを書いてください

Q1. これは自転車も守らねばならない標識です。
何の意味でしょうか？

A



Q2. これは自転車も守らねばならない標識です。
何の意味でしょうか？

A



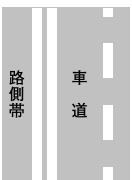
Q3. これは自転車も守らねばならない標識です。
何の意味でしょうか？

A



Q4. これは自転車も守らねばならない
規制のための標示です。何の意味でしょうか。

A



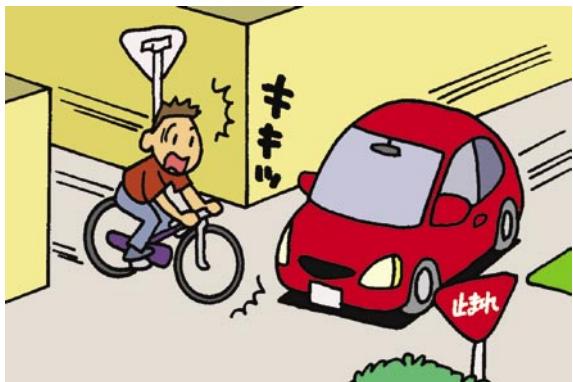
→解答は次ページに！



まとめクイズの解答と解説

Q1.

「車両進入禁止」の標識。一方通行の道路で、逆行することになる方向へ車両が入らないよう进入を禁止している標識であり、自転車にも適用されます。



一時停止標識は自転車は守らなくてはいけません

Q2.

「一時停止」の標識。一時停止のための停止線があればそこに(なければ交差点の手前に)一度停止し、左右の安全を確認してから進みましょう。

Q3.

「一方通行」の標識。この標識のある道路では矢印と反対の方向へ走行してはいけません。

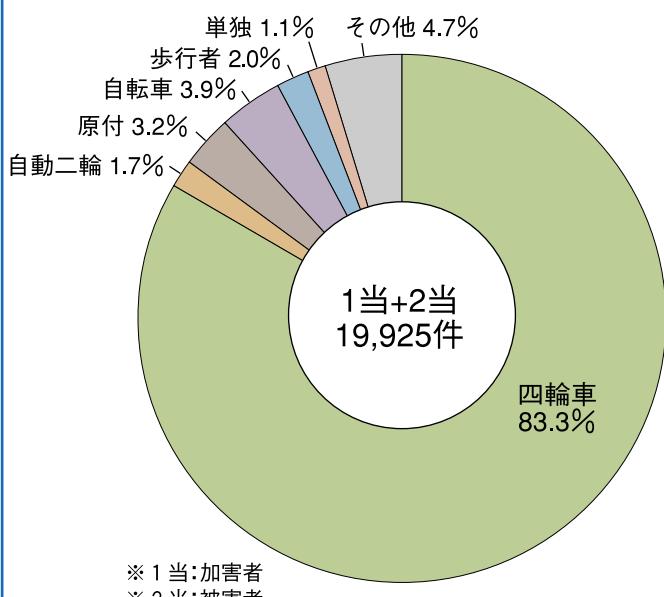
Q4.

路面に書いてある二本の線は「歩行者用路側帯」を示すもの。車の駐停車とともに、軽車両(自転車)の通行が禁止されています。

コラム 1

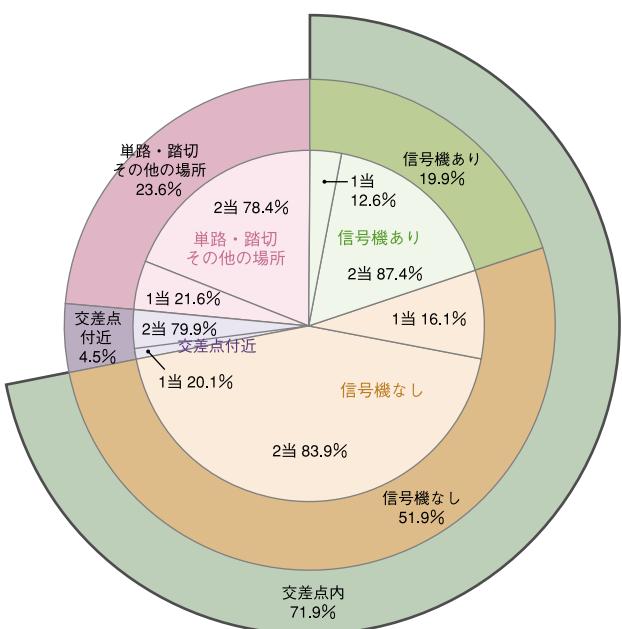
自転車事故の相手は四輪車が約83%

グラフ1 16～18歳の自転車事故の相手
(発生件数をパーセントで見たもの)



約72%の事故は交差点で発生

グラフ2 16～18歳の自転車事故を交差点、交差点外など道路形状別に発生件数をパーセントで見たもの



●一時停止標識は自転車でも守ろう

自転車は、交差点での出会い頭の事故が大変多いのです。

四輪車との事故が83%

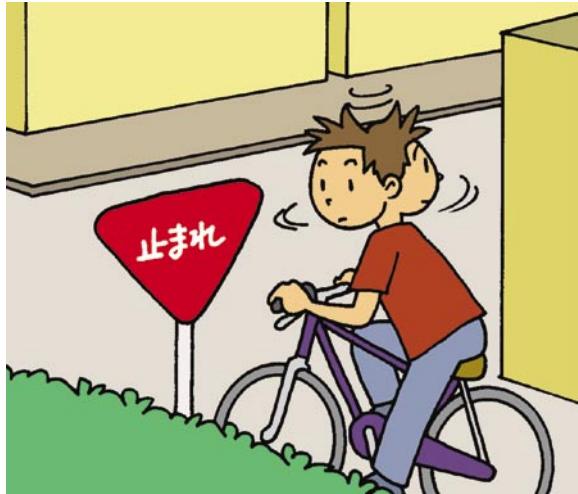
平成20年の高校生年代(16~18歳)の自転車の人身事故は、19,925件ありました。このうち自転車側が第1当事者(過失の重い者、過失が同程度の場合は人身損傷程度が軽い者)になったのは17%、第2当事者(過失の軽い者、過失が同程度の場合は人身損傷程度が重い者)だったのは約83%です。事故の相手では四輪車が一番多く83.3%を占めています(コラム1:グラフ1)。

また、どこで起きているのかをみてみると、グラフ2(コラム1)のように約72%が交差点内で起きています。交差点には、信号機があるものとないものがあります。信号機がある交差点では、信号の指示に従うことが大切です(信号無視をしない)が、青の場合も右左折する車の動きに注意して、渡りましょう。

信号機のない交差点があぶない

信号機のない交差点には一時停止標識のある交差点とない交差点があります。一時停止標識のある交差点の通行方法は、

- (1) 停止線で止まる(停止線がないところは交差点の直前で止まる)
- (2) 次に交差点の直前まで進み、止まる



しっかり止まって左右確認

- (3) その位置で交差道路の左右の安全を確かめる
- (4) 交差する道路を通行する車などが通り過ぎたあと、交差点に入る。自転車横断帯があるときはそれを使う
- (5) 右折するときは、十字路、T字路ともに直進横断後、右に曲がる

一時停止標識のない交差点に入るときも、よほど見通しのいいところ以外は一時停止することをおすすめします。

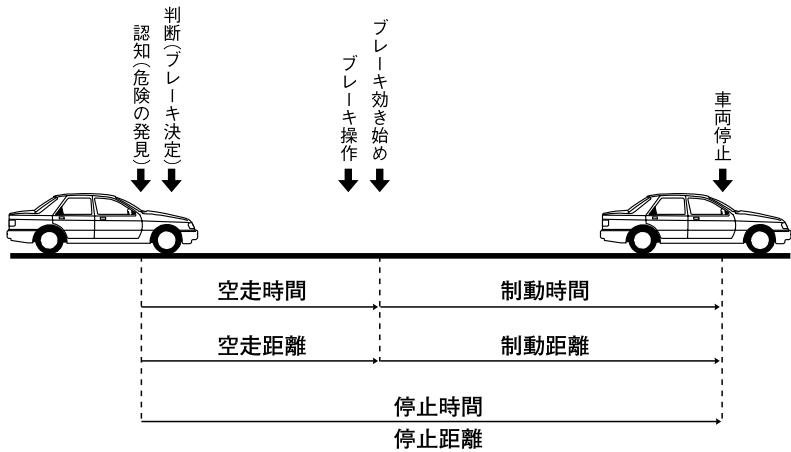
コラム 2

無理な横断をしないための一般知識

車はすぐに止まれない

ドライバーが前方に危険を発見してブレーキをかけようと判断し、ブレーキペダルを踏むまでの時間にも、車は走っています(時間を空走時間、距離を空走距離という)。1秒かかったとすると、60km/hの場合16.7m進みます。

ブレーキを踏んだあとも、止まるまでに、一定の距離を走ります(制動距離)。制動距離はブレーキをかけたときの速度が高いほど長くなります。



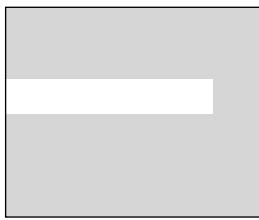


新聞や本などの資料、インターネットなどを使って、調べて考えてみましょう

- ・自宅や学校周辺の交差点に「一時停止」の標識や「停止線」の路面標示はありますか？ それはどこですか？ →



一時停止標識



停止線（路面表示）

- ・自宅や学校周辺の交差点で「一時停止」標識や「停止線」標示はないけれど、「あればいいのに」と思うところはありますか？ それはどこですか？ どうしてそう思うのですか？ →



M E S S A G E

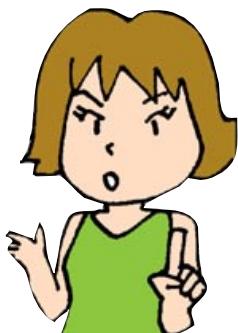
一時停止標識は警戒心を持って自覚的に守るもの

時崎賢二 財団法人全日本交通安全協会 参事

交差点は広い道路が優先で、狭い道路は一時停止というのが原則になっています。同じくらいの幅だと、交通量の多い道路が優先になります。基本的には、優先でない方に一時停止標識をつけます。一時停止標識と一方通行の標識、車両進入禁止標識は、自転車にとっても大切な標識です（一方通行は「自転車を除く」とっていない場合は自転車にも適用されます）。

一時停止標識は、命令を意味する規制標識ですが、警告・警戒も見る人に求めています。一時停止しないと自分が危ない、相手に危害を加えることがある、飛び出しということもあります。必ず止まらなければならないが、形式的に止まるだけでなく、同時に警告・警戒も要求されるのです。通るな、というのは誰でもわかりますが、一時停止には、なぜ、なんのために、というわかりにくさがあります。相当高度な、自覚的な行為を交差点を通過する人に求めているわけです。

二輪車は、四輪車に見せる・見られる運転が大事



二輪車は楽しく便利な乗り物だけど、ブレーキやアクセル操作を誤ると転倒したり、車体が小さいために四輪車から見落とされたり、といった点に注意して運転しなければいけない面もあるんだよ。

まとめクイズ

Yes、Noのどちらかを選んでください

Q1. 道路では、二輪車は四輪車より

車体が小さいので、四輪車のドライバーは
常に二輪車に気を配ってくれる。

Yes **No**

Q2. 二輪車は車体が小さいので、

実際の速度より遅く感じられる。

Yes **No**

Q3. 二輪車は風を感じる、人車一体感があるなど、

運転する楽しみが大きいが、
転倒すると大ケガになる可能性が高い。

Yes **No**

Q4. 二輪車事故の相手でもっと多いのは、

四輪車で約半数を占める。

Yes **No**



→解答は次ページに！



まとめクイズの解答と解説

Q1. No

二輪車は車体が小さく、運転者の身体も外に出ているので、四輪車と衝突すると、二輪ライダーの被害が大きくなりがちです。

二輪車に気を配ってくれる四輪ドライバーはたしかにいますが、車体が大きいことを理由に、道を譲るのは二輪車のほうだと思う人たちもいます。

四輪車の死角に入らない、四輪が自分に気づいているかどうか、また右左折待ちの四輪車の動きに注意を払うなど、二輪のライダーは、自分を守る運転を心がけてください。



四輪車の左横を走るときは、四輪車の死角に注意しましょう

Q2. Yes

二輪車が直進して交差点に入ろうとしているとき、対向の四輪車が右折して事故になることがあります。原因のひとつは、二輪車の速度を低く見積もったためといわれます。詳しくは次ページの「四輪車の特性を知ろう」を読んでください。

Q3. Yes

四輪車は車体が大きいため、いろいろな安全装備をつけることができます。一方、二輪車の安全装備は、ヘルメット、手足をむきだしにしない衣服や靴、手袋などですが、いったん事故にあうと四輪車よりも大きな被害を受けてしまいます。ライダーは、交通状況を正確に判断する力や、ブレーキングやコーナリングの操作力を上げる努力が求められます。

Q4. No

二輪車事故の相手の約4分の3が四輪車です。
(コラム1:グラフ1)

コラム 1

四輪車の動きに注意しよう

二輪車の事故の約4分の3は、四輪車との事故です。二輪車と四輪車は、大きさも乗り物特性も違うため、お互いの行動特性が理解されずに起きる事故もあります。四輪車との事故を防ぐためには、四輪車の特性、二輪車の特性を考えることが重要です。

グラフ1 二輪車事故の相手に占める四輪車の比率



(財)交通事故総合分析センター 平成20年

●四輪車の特性を知ろう

四輪車の二輪車に対する錯覚、軽視などで起きる事故。

「右直事故」はなぜ起きる

四輪ドライバーの二輪車に対する速度や走行位置の「過小評価」や「見落とし」「軽視」が働いて起きやすい事故の代表例が、「右直事故」(交差点を直進する二輪車と、対向車線から右折する四輪車が衝突する事故)です。

右直事故は、見通しがよく、四輪車と二輪車がお互いに見えても起きることがあります。二輪ライダーは、「当然四輪車は自分を見ているはず」「青信号で直進する二輪車に優先権がある」と考えがちです。しかし、四輪ドライバーが、

- ・二輪車の速度を低く見積もる
- ・走行位置を実際より遠くに感じることで、二輪が交差点に入る前に右折できると、判断する
- ・自分が右折を始めたら二輪は待ってくれるだろう、と思い込む可能性もあります。

ドライバーの立場で考えてみよう

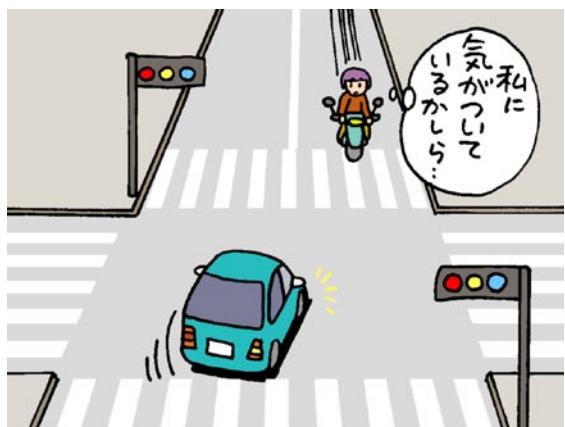
右直事故を防ぐには、四輪車の動きをよく観察しながら、交差点に入らないといけません。

「四輪車に乗るようになって初めて、二輪車が見えに

くい存在であることがわかった」

「二輪車しか経験のないときは、四輪車は当然自分のことを見ててくれると思って、四輪車の動きに注意を払っていなかった」との感想は、二輪免許を取ったあと、普通免許を取った人の話です。

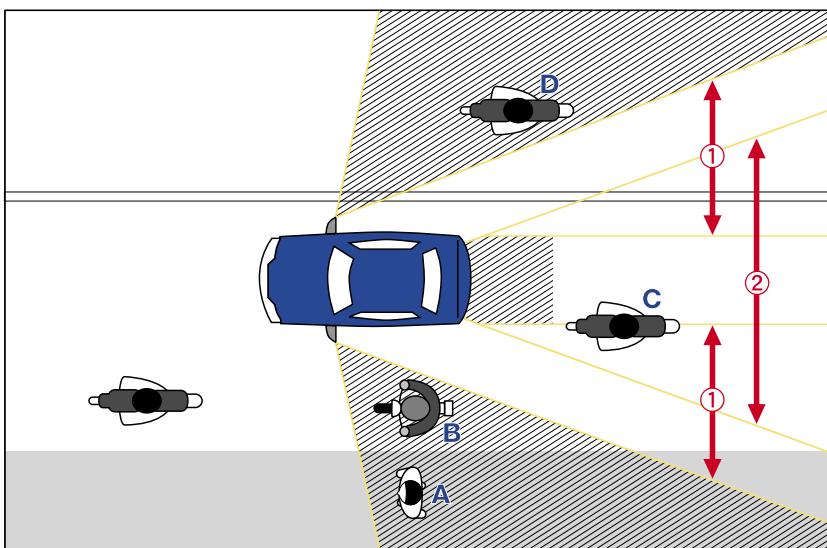
事故を防ぐためには、「この場面で、自分は相手にどう見えているのか」と相手の立場にたって考えることが大切です。



交差点を通過するとき、右折しようとする四輪車の動きをマークしよう

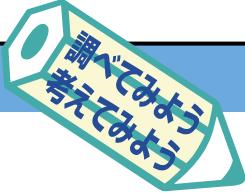
コラム 2

四輪車の死角を知っておこう



図中のA,B,Dは、四輪ドライバーが首を回せば確認できますが、それを怠るドライバーもいます。死角に入らないような走行位置を取るよう工夫をしましょう。死角に入っていると、ドライバーは気づかず、車線変更したり、左折を始めて、二輪と接触します。

①はドアミラーに、②はルームミラーに写る範囲。 斜線の部分はミラーに写らない。



新聞や本などの資料、インターネットなどを使って、調べて考えてみましょう

- 家族の車の運転席に座ってみて、運転席から周囲

がどのように見えるのか、実際に確かめてみましょう。(コラム2の死角図参照)



- 自分が二輪車の免許を取ったらどんなところに

行きたいか、考えてみましょう。



- 自宅の車や路線バスなどに乗っているとき、助手

席や後部座席から、道路を走る二輪車の動きを観察してみましょう。



MESSAGE

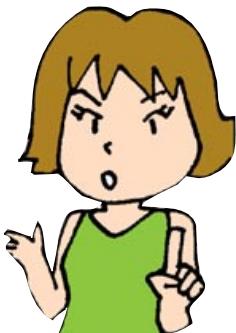
見てることを確認してもらう、見られていることを確認する。

岡野道治 日本大学理工学部教授

反射神経に自信がある若い人们は、「見られる」ということをあまり意識しないのではないでしょうか。たとえば自転車でも、中学生くらいになると、夜間ライトをつけて走っている人は少ない。これは、自分は何があっても必ず避けられる、と思い込んでいるせいです。交通状況にいる人すべてが自分と同じ反射神経をもっている人ばかりではない、ということに気づいてほしいですね。自分が見ることはもちろん大切ですが、相手が自分を見ているかどうか、ということもとても重要なことです。

オーストラリアの交通安全教育テキストに、「自転車のときは手信号で自分の行きたい方向を知らせなさい。そしてそれをドライバーが見た、ということを確認しなさい」と書いてありました。見られていることを確認する、見てることを確認してもらう、というのは難しいですが、たとえば相手がちょっと車の速度を落とした、ということで「見た」だろうな、と確認できるはず。「見る・見られる」ことの意味を今一歩踏み込んで考えていただきたいですね。

車に乗せてもらうのは楽しい。でも危険もある



先輩や友人の車でドライブするのは、
楽しい反面、免許取り立ての人が多く、
危険も伴う、ということを頭に入れておいて！

まとめクイズ

Yes、Noのどちらかを選んでください

Q1. 四輪車を運転する18歳の人が起こす
人身事故発生率は、他の年代と比べて、
とくに高くない。

Yes **No**

Q2. 16歳から18歳までの人が、四輪車に
同乗していて事故にあった死傷者数は、
男性より女性のほうが多い。

Yes **No**

Q3. 若いドライバーが年下の人を乗せていると
運転は慎重になるのが一般的。

Yes **No**

Q4. 同乗していた車が事故を起こし、ケガをした場合、
同乗者は被害者なので、どんな場合でも
運転者に100%の損害賠償をしてもらえる。



→解答は次ページに！



まとめクイズの解答と解説

Q1. No

事故の発生率を他の年代と比較するには、その年代の免許保有者数のなかで、どれくらいの割合で第1当事者(加害者)として事故を起こしているかを見る必要があります。下のコラム1のグラフのように、事故率では18歳が一番高くなっています。

Q3. Yes

年上の人や同乗しているときは慎重になるが、同年代または年下の人や同乗している場合は、危険な運転になりがちだと、いわれています。



Q2. Yes

高校生年代で運転免許を取る女性は多くありませんが、四輪車に同乗して事故にあう女性は16歳から20歳にかけて、年齢が上がるほど多くなります。運転しないから、事故に関係ないと女性は思いがちですが、同乗者として事故にあっています。

Q4. No

事故の刑事責任は運転者にあります。しかし損害賠償責任(民事責任)では、たとえば「同乗者が安全のためにスピードを下げるよう運転者に言わなかった」「運転者が酒を飲んでいるのがあらかじめわかっていたが、同乗した」などの理由で、損害賠償額が減額されることもあります。

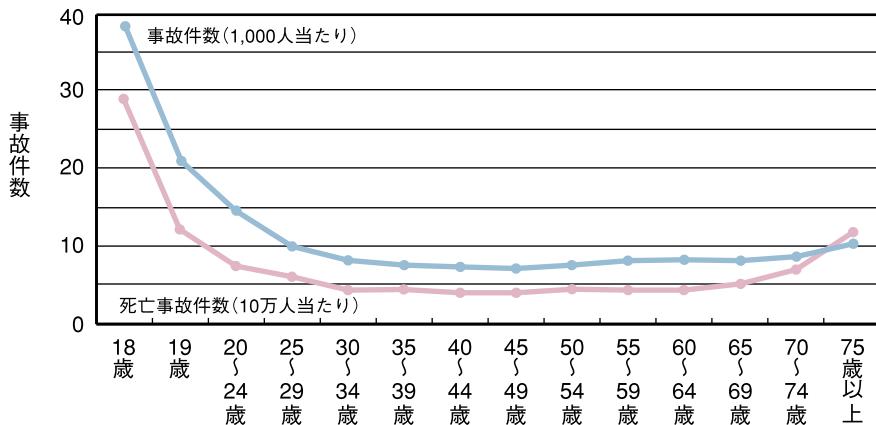
車に乗せてもらったとき、
ドライバーをあおっては
いけません。

コラム 1

先輩や友達はどんなドライバーが知っておこう

年齢層別に事故率を見たのですが、
18~19歳が他の年齢よりはるかに事故を起こしやすいことを示しています。

グラフ1 年齢別四輪免許保有者に対する四輪運転者の死亡・負傷事故件数の比率(第1当事者※)



※第1当事者:加害者

(財)交通事故総合分析センター 平成20年

●友達や先輩の車に乗るリスクを考えよう

同乗者を乗せたときの若いドライバーの特徴を知っておくこと。

目立ちたがり、競争好きのドライバーは要注意

交通事故というと四輪車などを運転しているときの事故をイメージしがちですが、高校3生年代では、「運転中」と同じくらい四輪車に「同乗中」の事故があります。

高校生になると先輩や友達の車に乗せてもらう機会が増えます。若くて免許取り立てのドライバーが人を車に乗せるときの特徴として、「自分の運転をほめられたくて無理な運転をしがち」「仲間にあおられると危険なスピードでも出してしまいがち」「追い越されたりすると、対抗して競いがち」といったことがあります。

同乗者は、運転者に命を預けているわけですから、危険な運転をしないようにさせることが必要です。どんなにドライブが楽しく、盛り上がっていても、運転者をあおったり、けしかけたりしてはいけません。みんなのムードがしらけても、運転者が怒っても、「スピードを下げさせよう」という勇気を持つことが大切です。

安全運転に協力しよう

命を守るために第1の条件は、自分が同乗する四輪車のドライバーが、運転経験がどれくらいあるか、乱暴な人か慎重な人かなど、乗せてもらって安心か



「スピードダウンしよう」の一言が大切です

どうかをまず考えることが大切です。

乗せてもらったあとは、運転が安全であるように運転者に協力すること。「前の車を追い越せ」「スピードをもっと出して」など、安全運転に協力せずに事故が起きた場合、同乗者も責任を問われることを知っておきましょう。

同乗するときの心得として、助手席ではもちろん、後部座席でもシートベルトを着用すること。後部座席に同乗中の致死率をシートベルト着用と非着用で比較すると、非着用の致死率は、着用時の2.7倍にもなります。

コラム 2

同乗者の損害賠償額が減額された例

- 深夜ドライブで仲間の車を追い越したときにハンドル操作を誤り、同乗者（被害者）が死亡。

同乗者は、定員超過で車に乗り、運転者（加害者）が1人で運転し疲れていたことを知っていたし、スピードを楽しむ雰囲気づくりに関わっていたとして損害賠償額の25%減額。

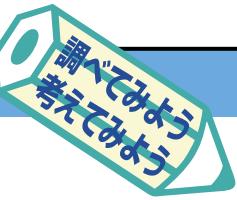
- 運転者（加害者）は転落事故を起こし、友達の同乗者（被害者）にケガをさせた。

同乗者は、運転者の免許取得が1ヶ月半前で運転技術が未熟であったこと、雑談のあとほぼ徹夜状態で疲労して運転していたことを知っていた。さらに高速で運転していたことを知っていたのにスピードを落とすようにいわずにドライブを楽しんだとして、損害賠償額の15%減額。

飲酒運転の車に同乗して損害賠償が減額された例

- 深夜、同乗者（被害者）が運転者（加害者）と一緒に酒を飲み、自宅に送ってもらう途中、ガードレールに衝突して同乗者はケガをした。

同乗者は運転者がかなり酔っていたことをわかっていたとして損害賠償額の20%減額。



新聞や本などの資料、インターネットなどを使って、調べて考えてみましょう

・これまで年の近い先輩や知り合いの車に乗せても
 らったことがありますか？ そのときはどんな感

 じでしたか？



・家族の車に同乗するとき、シートベルトをしてい
 ますか？



・同乗したくない人に誘われたときの、断る言い訳
 をいくつか、考えておきましょう。



同乗中の事故は若者に共通の事故

澤 喜司郎 山口大学経済学部教授

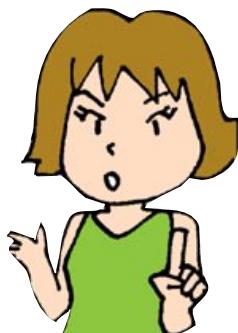
MESSAGE

2000年4月、ある音楽系サークルの学生が数台の車に分乗して隣の町まで夕食に出かけました。その帰路に最後尾を走っていた車が他車とはぐれ、道に迷い、細い路地から制限速度を上回る速度で信号機のない交差点に一時停止をせずに進入しました。その後、右方向から走行してきた会社員が運転する乗用車と衝突。会社員の車には同乗者はなく、会社員はシートベルトを着用していたために軽い打撲傷ですみました。

学生の車には5名が乗車し、運転していた学生と助手席の学生はシートベルトを着用していたためにすり傷程度の軽傷でしたが、後部座席に同乗していた3名の学生は4月に入学したばかりの1年生で、シートベルトを着用していないかったために車外に放出され、うち2名が即死し、1名が脳挫傷による重傷を負いました。

この交通事故には、1件の事故で死傷者が多数出るという、若者の事故にはほぼ共通する特徴があります。事故の原因は大学生の運転技術の未熟さにあります。何よりも問題なのは「安易な同乗」であり、それは事故が起きた場合に被害が拡大する原因となっているのです。

この画面の中にどんな危険がありますか？（自転車乗用中）

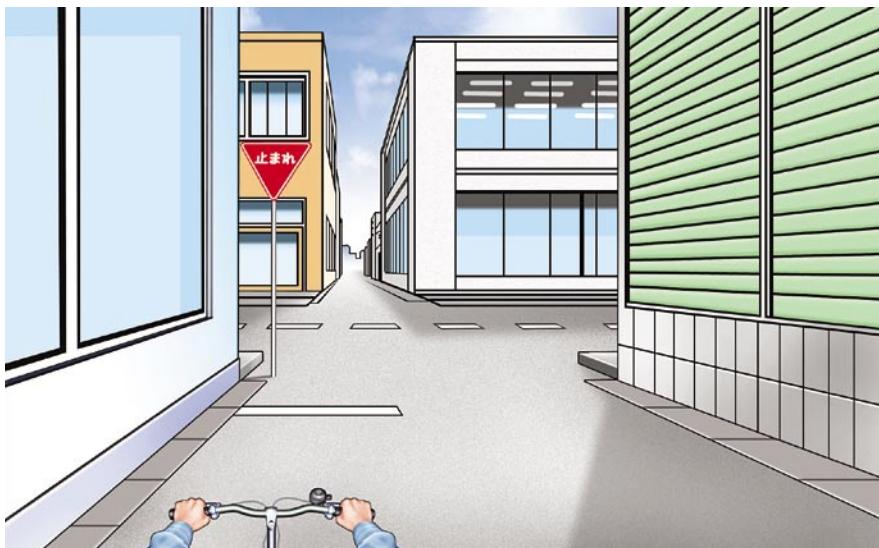


自転車事故の多くは、「一時停止をしない」や
「安全を確認しない」ことが原因。
事故を防ぐには、頭を使って、危険を予測し、
危険にあわないよう冷静に行動することです。

まとめクイズ

友達や家族の方とやってみましょう

あなたは、自転車で下のような信号機のない交差点にさしかかりました。
時間は夕方、道は下り坂で、あなたは交差点を越えてまっすぐ進むつもりです。



Q1. どのような危険がありますか？

Q2. どのような行動をとればよいと思いますか？



→解答は次ページに！



まとめクイズの解答と解説

Q1.

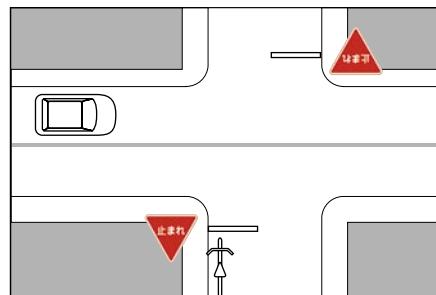
この交差点は、建物の影になって左右の見通しが悪くなっています。「一時停止」の標識もあります。この標識がある交差点は、事故が起きやすい場所だとまず考えましょう。

次のような「見えない危険」が予測できます。

- ・いまは見えないが、交差している前の道路には、この交差点の方向に走ってくる車がいるかもしれない
- ・見えない車の中には、この交差点を左折して入ってくる車がいるかもしれない
- ・あなたの後ろにいた車が、あなたを追い越し、急に左折するかもしれない
- ・交差している道路の歩道を、歩行者や自転車が横切るかもしれない
- ・あなたの走る道は下り坂なので、速度が出過ぎて、ブレーキをかけても手前で止まれないかもしれない
- ・車のライトが見えるかもしれない
(このほかにも、お友達や家族の方と話し合い、思いつく危険があればあげてみましょう)

Q2.

「見えにくい危険」の多い交差点では、「一時停止」標識のありなしに関係なく、必ずきちんと停まって安全を確認することが大切です。とくに、夕方はものが見えにくくなり事故の多い時間帯です。徐行しただけでは危険を見落してしまう可能性が高くなります。スピードが出ているから止まるのは面倒くさい、などと思わないことです。



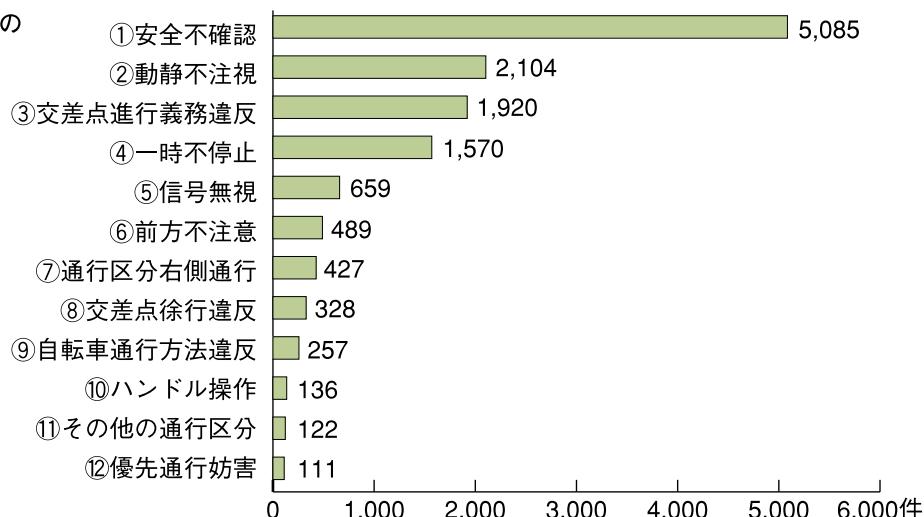
コラム 1

自転車事故を起こしたときの違反

違反のワースト12のうち、操作に関連した違反は10位のハンドル操作だけ。

情報の見落としや判断の誤りに関する違反がほとんどです。

グラフ1 16~18歳の自転車事故の主な法令違反12



(財)交通事故総合分析センター 平成20年

●「危険を予測する」ことの大切さ

予測していれば、事故を避けることができます。
「見えない危険」を見つけだす目を持ちましょう。

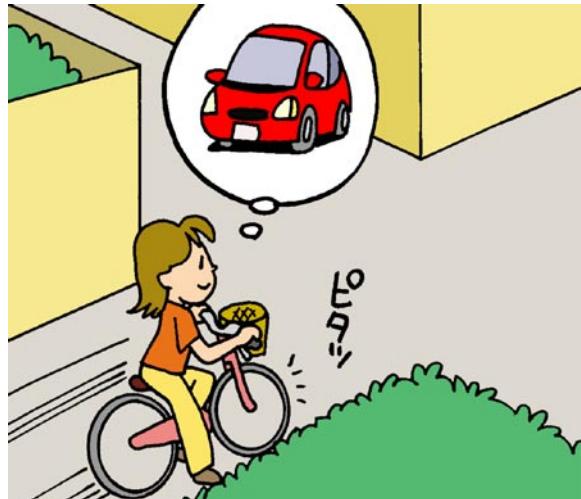
事故から身を守ろう

自転車が一方の当事者になった人身事故は、年間で16万件以上起きています。その中で、高校生年代(16~18歳)の自転車事故は、約2万件以上にのぼります。事故の相手は四輪車が約83%です。事故になると、たとえどちらに過失があっても、自転車の方が受ける被害が大きくなります。交通ルールを守るだけでなく、積極的に事故から身を守るという考え方が必要です。

次に何が起きるか考えよう

事故にあわないためには、どのようなことが大切なのでしょうか。たとえば、ボールが投げられることがわかつていれば受け止められますが、思いがけないときに飛んできたボールは受け止められずに落としてしまうでしょう。

同じように、「飛び出しがあるかもしれない」「車が来るかもしれない」などと危険を予測して行動すれば、事故を避けることができます。コラム1のグラフは、16~18歳の自転車事故の主な原因になったと思われる



信号のない交差点では見えない危険を予測しましょう

れる、事故直前の違反です。「安全不確認」による事故が非常に多いことがわかります。危険を意識せずに行動したり、危険の知識がなくて、事故にあってしまうのです。「見えない危険」を見つけだす目を持ち、事故を避ける行動をとってください。

コラム 2

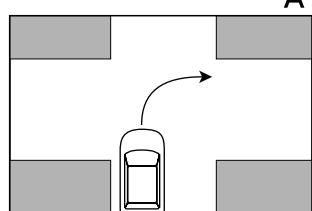
「一時停止標識について」

一時停止の標識は、信号機のない交差点で、飛び出すと事故になりやすい場所につけられています。安全な通行の手順は次の通り。

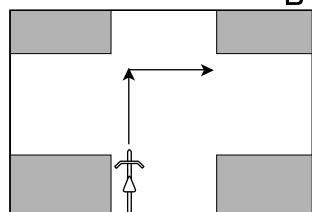
- ①停止線でいったん停まる
- ②その位置から交差している道路の左右が見えないとときは、見えるところまで徐々に出る
- ③左右の安全を確認して、交差点に入る。道路の車だけでなく、歩道を歩く小さな子どもや犬などの飛び出しも考えられるので、歩道部分の安全も確認する



A



B



自転車で交差点を右折するときは

自転車で交差点を右折するときは、四輪車のような右折方法(A)ではなく、一度道路を横断してから右に方向を変える二段階右折(B)を行います。車体の小さい自転車や原付は、見落とされたり巻き込まれたりしやすいので、右折時にはこの方法を守りましょう。



新聞や本などの資料、インターネットなどを使って、調べて考えてみましょう

- 1.あなたの通学路に、一時停止標識はいくつありますか？　今日の授業を受けて、これからはどんなことに注意してその場所を通ったらいいと思いませんか？
→-----

 - 2.家の周りや通学路で、今までヒヤリとしたり危なかった経験はありますか？
そのときのことを思い出して、下の枠の中に危険予測の問題を作ってみましょう。
 - 3.2.で作った問題を友達や家族の方とやってみて、
安全な通行方法について話し合いましょう。

【あなたが作る危険予測問題】

あなたの身近な場所でのヒヤリ体験から、危険予測問題を作つてみましょう。

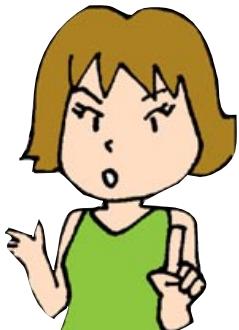
●右の場面の解説

(ここに危険場面のイラストや写真を貼りましょう)

●どのような危険がありますか？

●どのような行動をとればよいと思いますか？

事故にあったらどうする？ 事故を見たらどうする？



実際に事故にあつたり、事故を見たりしたときに
冷静に対応するのは難しいもの。
だからこそ、ふだんから事故時の対応を
学習しておきましょう！

まとめクイズ

Yes、Noのどちらかを選んでください

Q1. ちょっとした打撲や、かすり傷程度の
軽い事故なら警察に通報しなくてもよい。

Yes **No**

Q2. 登校中に事故を目撃しても、
学校に遅刻したくないので、
そのまま素通りする。

Yes **No**

Q3. 自転車乗用中に四輪車と接触し転倒したら、
その場で四輪ドライバーが治療代として
3万円を出してくれた。もらっていいか。

Yes **No**

Q4. あなたがあて逃げされたり、ひき逃げや、
あて逃げの現場を目撃したときは、
逃げた車のナンバーや色、形などを
できるだけ覚え、警察に通報する。

Yes **No**



→解答は次ページに！



まとめクイズの解答と解説

Q1. No

警察への通報は、加害者、被害者を問わず車両運転者の義務として法律で定められています。軽い事故と思っても、たとえば頭を打っていると、後で危険な症状が出ることもあります。

Q3. No

たとえその場でお金を差し出されても、受け取らず、警察に通報しましょう。(Q1参照)
あとで重大なケガがあることがわかり、治療に3万円ではすまなくなることもあります。

Q2. No

交通事故は人の命がかかった問題です。学校には電話などで事情を説明し、遅れる旨を知らせ、周りの人と協力して目撃者として警察の到着を待ちましょう。

Q4. Yes

さらに発生時間や発生場所も覚えておくとよいでしょう。



事故にあったときは、
おわびにお金を出されても
受け取らずに、
警察に通報しましょう。

コラム 1

事故にあったときしなくてはいけないこと

軽い交通事故にあった場合でも、直後に必ずしなければいけないのは、次の4つ

1.警察への通報

加害者、被害者を問わず車両運転者の義務として法律で定められています。通報しないと、自動車安全運転センターから「交通事故証明書」を発行してもらえないなり、保険金請求や損害賠償請求ができなくなる場合があります。

2.相手の確認

ドライバーの運転免許証や自賠責保険証を見せてもらい、氏名、住所、車のナンバー、車の持ち主、保険会社名などを確認しましょう。

3.軽いケガでも病院に行く

軽いと思っていたケガが、あとになって重いことがわかることがあります。

4.保険会社への報告

ケガや車両の損傷があったときは、入っている保険会社に連絡をしましょう。

●事故にあったときの対処法

あせらず冷静に、必要なことをきちんと伝えよう。

警察に届けよう

高校生は、自転車事故の被害者になったときに、対処法（コラム1）を知らずに、不利益を被ることがあります。よくあるのが「自分のケガはたいしたことがない」と思って、警察に通報せず、事故の相手の連絡先も聞かずに帰ってきて、あとで大げがとわかるケースです。相手側のドライバーも面倒なことに巻き込まれたくないと思い、自転車側の不注意を責めるなど、うまくやり過ごしてしまおうとする人もいるかもしれません。

しかし勇気を出して「警察に連絡しましょう」「免許証を見せてください」といいましょう。たとえ自転車乗用中の自分に、「片手運転」や「無灯火運転」などの非があったとしても、交通事故の多くは、事故の当事者双方に過失があるものです。ドライバーにも違反や過失があるかもしれません。もし相手の車が走り去ったときは、そのままにしないこと。周りの人に協力を求めるのもいいでしょう。（コラム2）

目撃情報は大切

また、たまたま自分が事故現場に居合わせたら、



事故にあったとき、「ケガは軽い」と自分で判断しないこと

1.目撃者としての情報を覚え、提供する

2.ケガ人に救助の手をさしのべる

この2つのことをしましょう。目撃情報は事故の真相解明にとても大切なものです。積極的に警察に協力するようにしましょう。

コラム 2

自分にぶつかった車が逃げた、あるいは、ひき逃げ車を目撃したら……

1.車のナンバー、色、形、車種を覚える。

ナンバーは、数字を1つ間違えるとまったく違う車になります。
色や形なども覚えておきましょう。

2.発生時間を覚えておく

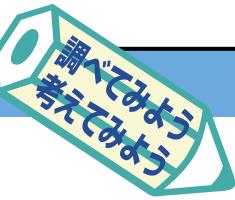
時計を持っていない場合でも、他の人に聞くなどして必ずチェックしましょう。

3.発生場所

住居表示や目印となる場所、建物をチェックしましょう。

4.周囲の人の協力求める

周囲に協力を求ることで、目撃者としてそのときの状況を証言してもらいます。
連絡先を教えてもらうと、あとで裁判になったときなどに連絡がとれます。



新聞や本などの資料、インターネットなどを使って、調べて考えてみましょう

- これまで事故にあったり、事故を見たりしたこと →
はありますか？ そのときはどんな対応をしましたか？

- 自転車の保険に加入していますか？ どんなもの
があるか調べてみましょう。



事故の対応を知らなかつたために 自分で治療費を負担している方がたくさんいます

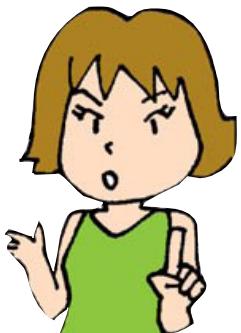
高山俊吉 弁護士

MESSAGE

交通事故を起こした人には被害者を救護し、事故を警察に届ける義務があります。交通事故にあたら、まず助ける、そして警察に届けるというのは基本的な約束事です。必ず守りましょう。若い入たちは、事故にあったときは、たいしたことないと思いがちです。事故にびっくりして、痛いとか苦しいとか思わないこともあります。後から痛みに気づいて交通事故を届ける人が少なくありません。しかしある事故の相手はどこに行ってしまったかわからない。結局自分で治療費を負担しなければならない、という方がいっぱいいます。

相手のドライバーに「ケガは大丈夫だね」といわれ、そのまま立ち去られそうになってしまも「ちょっと待ってください。事故ですから、ちゃんと届け出してください」といいましょう。運転者が逃げてしまうと「不申告事故」といって、相手がケガをしている場合には「ひき逃げ」になります。自転車を壊して逃げれば「あて逃げ」で、普通の自動車事故よりも、その運転者は重く処罰されます。逃げられてしまった場合には、車のナンバー、色、形、車種などを覚えておきましょう。

違反や事故はあなたの人生設計に影響を与える



ちょっとしたデキゴコロでやりがちな
無免許運転やスピード違反。
それって、窃盗や傷害と同じような
「犯罪」なんだってことを忘れないで！

まとめクイズ

Yes、Noのどちらかを選んでください

**Q1. 罰金ですむような交通事故の場合、
罰金さえ払えば、なかつたことになる**

Yes **No**

**Q2. 駐車違反で払う「反則金」と、
飲酒運転で払う「罰金」は、
金額は違うが同じものである**

Yes **No**

**Q3. 無免許運転でつかまって罰金を取られると、
将来、希望の職業に就けないことがある**

Yes **No**

**Q4. 医師や弁護士など免許の必要な職業以外なら、
たとえ交通事故を起こしても、
とくに将来の進路などに影響はない**

Yes **No**



→解答は次ページに！



まとめクイズの解答と解説

Q1. No

「罰金」は悪質な違反に科せられる刑罰の1つで、前科になります。(コラム1)

Q2. No

まったく別のもの。「罰金」は刑罰の1つで、いわゆる前科になります。「反則金」は比較的軽い違反に対するもので、反則金を納めれば、刑事裁判や家庭裁判所の審判を受けないで事件が処理されるというものです。(コラム1)

Q3. Yes

無免許運転など重大な交通違反をすると「罰金刑」以上の対象となるので、希望の職業に就けないことがあります。(コラム2)

Q4. No

「罰金刑」以上で前科になると、履歴書にも記載されます。就職の際にも不利になる可能性があるうえ、人を傷つけたり死亡させたりしてしまったら、たとえ故意でなくても、その事実は一生ついてまわります。



事故を起こしたくて起こす
人はいません。でも、わざと
ではないからといって許さ
れるわけではありません。

●刑罰の種類

犯罪を犯したときに科される刑罰には、重い順に次の6つがあります。交通事故や違反も「交通犯罪」と呼ばれ、刑罰の対象になります。

死刑 > 懲役 > 禁錮 > 罰金 > 拘留 > 科料
*1 *2 *3 *4 *5

*1 刑事施設に拘置して所定の作業を行わせる。無期と有期があり、有期懲役は1ヶ月以上20年以下

*2 刑事施設に拘置する。無期と有期があり、有期禁錮は1ヶ月以上20年以下

*3 1万円以上

*4 刑事施設に拘置する。期間は1日以上30日未満

*5 1,000円以上1万円未満

コラム 1

「罰金刑」以上となる交通事故・違反の例

- ・ 負傷・死亡事故
- ・ 無免許運転
- ・ 速度超過30km/h(高速道40km/h)以上
- ・ 飲酒運転

「反則金」を科せられた交通違反の例

- ・ 駐車違反
- ・ 速度超過30km/h(高速道40km/h)未満
- ・ 信号無視(赤色等)違反
- ・ 信号無視(点滅)違反
- ・ 指定場所一時不停止違反
- ・ 徐行場所違反
- ・ 一方通行標識無視

●交通事故・違反が人生に与える影響

交通事故や重大な交通違反は「犯罪」。
希望の職業に就けなくなることもあります。

職業選択と交通事故の関係を知っておこう

高校生年代は、就職や進学など、人生の夢に向かって準備する大切な時期です。

夢を実現するために、交通安全は不可欠な要素です。人身事故を起こしたり、悪質な道交法違反をすると、就きたい職業に就けなくなることがあります。とくに国家資格などを必要とする職業が該当します。

たとえば、女性に人気の看護士や栄養士は、罰金以上の刑を受けると、免許を与えられないことがあります。

希望の多い公務員、学校の教師は、禁錮以上の刑を受けると、なれないケースがあります。

夢の実現に交通安全が大切

交通事故・違反と、窃盗や傷害は、まったく違うもののように思えます。しかし、同じ「犯罪」として刑罰の対象となります。交通事故は、窃盗や傷害と違って、起こしたくて起こす人はいません。でも、わざとではないからといって許されるわけではありません。二輪車や四輪車など便利な乗り物は、同時に、人を殺傷する凶器になることもあります。だから規制や罰則も厳しくなっているのです。

犯罪を犯すということは、将来の人生設計にも大



ついうっかりの「交通犯罪」で自分の未来を閉ざしてしまわないで!

きな影響を与えます。

就けなくなる職業も出てきます（コラム2）。運転をするときには、自分のこれから的人生も背負っているのだということを忘れないでください。

コラム 2

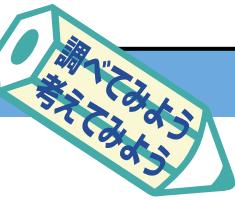
「罰金以上の刑」によって 免許を与えられないことがある職業

- ・医師・看護師・助産士・保険士
- ・歯科医師・歯科衛生士・薬剤師
- ・理学療法士・作業療法士・視能訓練士
- ・臨床工学技士・言語聴覚士・救急救命士
- ・あん摩マッサージ指圧師・はり師
- ・きゅう師・技師装具士・柔道整復師
- ・栄養士・管理栄養士・獣医師・調理師

「禁錮以上の刑」によって 免許を与えられない^(*)職業

- ・教育職員・裁判官・検察官・弁護士・保護司
- ・職業訓練指導員・大麻取扱者・弁理士
- ・地方公務員・国家公務員・自衛隊員
- ・公認会計士・司法書士・社会保険労務士
- ・不動産鑑定士・自動車運転代行業
- ・精神保健福祉士・社会福祉士・介護福祉士
- ・技術士・行政書士・宅地建物取引業

※免許を与えられない期間には、それぞれ期限が設けられている



新聞や本などの資料、インターネットなどを使って、調べて考えてみましょう

- ・あなたが将来就きたいと考えている職業は？
また、そのために今後必要なことは？



- ・あなたが現在乗っている、また
今後乗りたいと思っている乗り物は何ですか？



- ・その乗り物で、もし交通事故・違反を起こした場合、
あなたのこれから的人生にどんな影響があるか、
いろいろな角度から考え、調べてみましょう。





あなたの将来の夢と交通安全は密接につながっている

澤 喜司郎 山口大学経済学部教授

MESSAGE

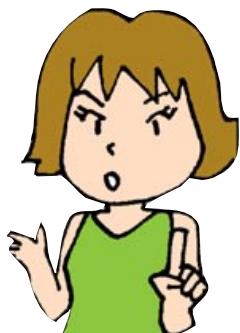
数年前のことになりますが、医学部の学生が運転中に事故を起こし、同乗者が死亡しました。運転していた学生は直後に退学し、医者になる夢を捨てました。

人身事故、それも重大な事故を起こすと、刑法では「罰金以上の刑」に処せられます。医師法では、「罰金以上の刑」に処せられると、たとえ国家試験に合格しても、医師免許は与えられないことがあると定めています。勉強を続けても、医者にはなれない。学生の退学はこのためでした。

医学部に入るために一所懸命勉強し、努力もしてきただろうに、本人も悔いても悔いきれないでしょう。医師だけではありません。教師も「禁錮刑以上の刑」を受けると、試験に合格しても教員免許は与えられません。

仕事を持つ、ということは人生で重要なことです。交通安全は、運転や安全知識にとどまらず、将来の夢の実現にとても大切だということを心にとどめ、交通安全の授業を受けていただきたいと思います。

高齢者とよいパートナーシップ



高齢になると、身体のどんな機能が衰え、
交通場面でどんなことに困るようになるのかを
理解して、積極的に手をさしのべるなどの
行動がとれるようにしよう。

まとめクイズ

Yes、Noのどちらかを選んでください

Q1. 高齢者は周りの音に耳をすまして
歩いているので、後ろから自転車で
近づく音にもすぐ気づく。

Yes **No**

Q2. 高齢になると反射神経が衰える。
高齢歩行者を自転車で追い抜くときは、
十分間隔を保って追い抜く。

Yes **No**

Q3. お年寄りは足、腰が弱っているので
出歩かないほうがよい。

Yes **No**

Q4. 高齢者は骨が弱くなっているために
転倒すると骨折しやすい。

Yes **No**



→解答は次ページに！



まとめクイズの解答と解説

Q1. No

老人性難聴といって、音が聞き取りにくくなるため、後ろから来る自転車の音が聞こえにくいといった状況が起きます。

Q2. Yes

高齢者は、若者と違って、反射神経が低下し、ぱっと避けることは苦手になります。自転車などで通行中、歩いてくる高齢者を見たら、速度を落とし、いたわるように注意深く、横を通過しましょう。歩いているときも同じです。

Q3. Yes

確かに脚力は弱くなりますが、家に閉じこもりがちでは、ますます衰えていきます。高齢者が積極的に外に出ていきいきと生活できるよう、周りがサポートをしていくべきです。



Q4. No

高校生では転倒してもすぐ起き上がれても、高齢者の場合は骨折しやすくなっています。さらに、骨折すると、寝たきりにつながりやすく、高齢者の転倒は要注意です。

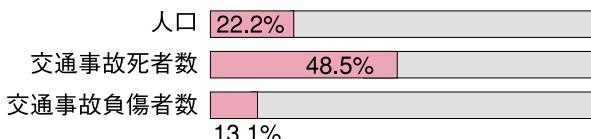
お年寄りは
聴力が落ちているため、
自転車が近づくのに
気づかないかもしれません。

コラム 1

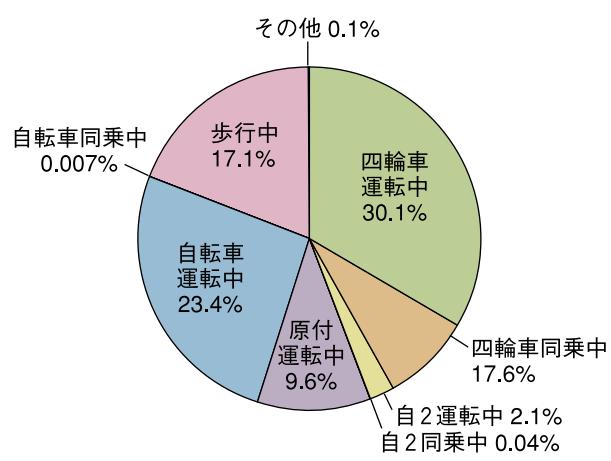
高齢者の交通事故は増えている

平成20年の総務省統計によると、日本では65歳以上の高齢者が人口の約22.2%を占めており、高齢者の交通事故も増えています。平成20年の高齢者の交通事故死者数は2,499人で全交通事故死者数の48.5%を占めています。負傷者数は12万3,560人で全体の13%を占めています。高齢者の人口は2015年には、26%台に達すると推計され、高齢者の交通事故は今後ますます増えると思われます。

グラフ1 高齢者の占める比率



グラフ2 状態別高齢者(65歳以上)の死傷者数
合計12万6,059人



(財)交通事故総合分析センター 平成20年

●高齢者特性を理解しよう

年をとると、視機能と運動機能が低下していく。

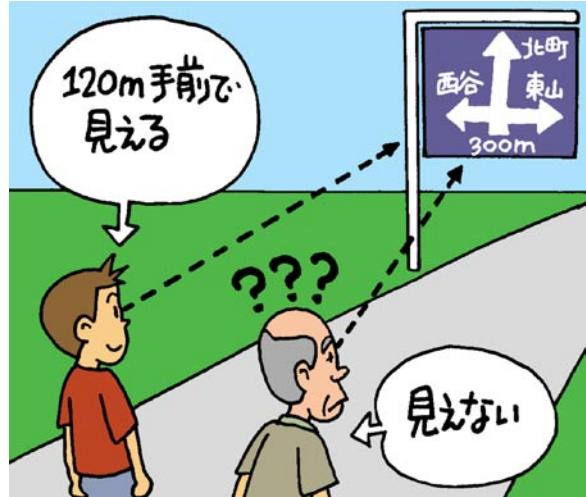
目から情報がとりにくくなる

高齢者になると、個人差はありますが全体的にいろいろな機能が低下してきます。交通の場面でまず問題になるのは「視機能」、「運動機能(筋力、関節)」の衰えです。

ドライバーでも歩行者でも、目の前の情報を「認知」してから、「判断」というプロセスを経て「操作(アクセルを踏む、足をあげるなど)」という行動に移ります。このプロセスの最初にあるのが「認知」ですが、ドライバーが認知する情報の90%は目から取っているといわれ、視機能の衰え(視力低下、目の白濁、老眼など)は交通の場面できわめて重要なことといえます。

高齢者の身体の衰えを配慮しよう

また運動機能の衰えのため、歩行速度は、成人(非高齢者)が1秒間に1.5~1.6m歩くのに対し、前期高齢者(65~74歳)が1.2m、後期高齢者(75歳以上)では1.0mという平均歩行速度の調査結果があります。その他、「反応時間の低下」や「判断の遅れ」などもあります。



若者と高齢者では、標識の見え方が違います

このような加齢による特性を十分理解し、たとえば高齢者がなかなか横断歩道を渡りきらなくてもライラせず、歩道を自転車でそれ違うときには、いったん自転車を下りておして歩く、などの配慮をするようにしましょう。高齢者たちは若者のそのような配慮に感謝すると思います。

コラム 2

チェック項目[高齢者が困っていること]

1) 電車やバスなど：

- ・都市部の立体駅での階段や長い乗り換え通路
- ・券売機の利用
- ・電車やバスの乗り換え案内や着発時刻の案内板が読みづらい
- ・車イスでは乗り込めない電車やバスの車両 など

2) 歩行や電動車イス利用、自動車運転など：

- ・歩行者用信号機の青時間が短い
- ・歩道の舗装面やマンホール場所にある凹凸など
- ・歩道と車道の段差、その段差を車道面まで切り下げている箇所
- ・立体横断施設(歩道橋と横断地下道)の利用が困難(エレベーターがないなど)
- ・ドライバー向けの案内標示(文字サイズ、文字と背景とのコントラストなど)
- ・ドライバー向けの路面標示(一時停止の指示、減速指示、中央線や路側帯の明示など)
- ・ドライバー向けの交差点
- ・道路照明(とくにトンネル部)
- ・自動車の運転がしづらい(操作性、文字盤が見えにくいなど)



新聞や本などの資料、インターネットなどを使って、調べて考えてみましょう

- ・自分の周りの高齢者に交通の場面でどんなことに困っているのか、聞いてみましょう。 →

- ・それについて自分はどうすればよいと思いますか？ →

- ・よく目にする高齢者の交通行動で、これは危ない、と思うことはありますか？それはどんなことですか？ →



日常生活における高齢者の身体の衰え

溝端光雄 東京都老人総合研究所社会参加・ヘルスプロモーション研究チーム 研究副部長

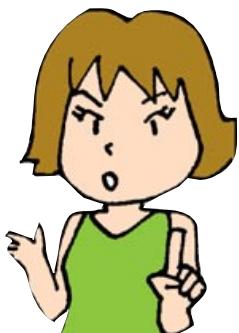
MESSAGE

高齢者の交通行動は、身体的な機能の低下に関係します。後期高齢者（75歳以上）が住まいの中で転びやすい場所はどこか。実は階段ではなく、寝室です。布団やじゅうたんの端につまずいているのです。足が上がらなくなっているからです。無論、元気な高齢者なら外出されるので、そうした方の場合、歩道橋の階段や歩道の小さな凹凸につまずいています。

後期高齢者になると、転倒すると9割くらいの確率で骨折となってしまいます。骨折すると寝たきりになり、立ち上がりがれなくなるケースも少なくありません。町で後期高齢者が歩いていると思ったら、目がよく見えていない、耳が聞こえていない、歩く速度は遅い、ぶつかれば転んで骨折するかもしれない、ということをいつも念頭に置いておきましょう。

すると、自転車のスピードを落として近づいたり、大きくよけることなどが自然にできると思います。青信号が点滅し始めても横断を終えていない高齢者を見かけたら「危ないですよ」と声をかけて手助けをする、そういうことから始めるのが大事だと思います。

上手に運転してるので、危険な運転といわれる。どうして？



運転って、ハンドルさばきが上手だとか
ブレーキ反応が早い、といった
操作だけじゃないんだよ。
その前の「よく見る」「注意して見る」ってことが
実はとっても大切！

まとめクイズ

危険な運転と思えたらYes、そうでなければNoを囲んでください

Q1. 先輩のAさんはカーブを曲がるときに、
キキーッとタイヤを鳴らし、ガードレール
すれすれまで接近させることができる。
とても運転がうまいと思う。

Yes **No**

Q2. 野球好きのB君は、車を運転するときも、
カーテレビの野球中継をちらちら見ているが、
あれはとても危険だと思う。

Q3. ふだんからせっかちな母は、イライラしている
ときはあえて車の運転をしないように
しているが、それは安全な態度だと思う。

Yes **No**

Q4. 車を運転中、警察や救急車が停まっている
事故現場のわきを通りかかった。
事故の状況を把握するため、
じっとそれを横目で見ながら運転したが、
それはわき見運転にはならない。

Yes **No**



→解答は次ページに！



まとめクイズの解答と解説

Q1. No

カーブの十分手前から減速していればタイヤは鳴らないはず。タイヤが鳴るのは、車が外に飛びだす限界を間もなく越えるということです。ふだんからこのような運転をする人は、事故を起こしやすいこともわかっています。

Q2. Yes

運転者が運転に関係のないものに目を向けることは大変危険。よそ見をしているその間に、目の前の交通状況は変わるかもしれません。慣れからくる「ながら運転」は危険です。

Q3. Yes

運転には、その日の気分や感情の動きが影響します。イライラや怒りなどは、運転に必要な冷静さや注意力を減らします。お母さんの態度は立派です。

Q4. No

もちろん、わき見です。わき見や安全不確認など、きちんと「見る」ことを怠ったコトが原因の事故が、事故原因の過半数を占めています。

(コラム1:グラフ1)



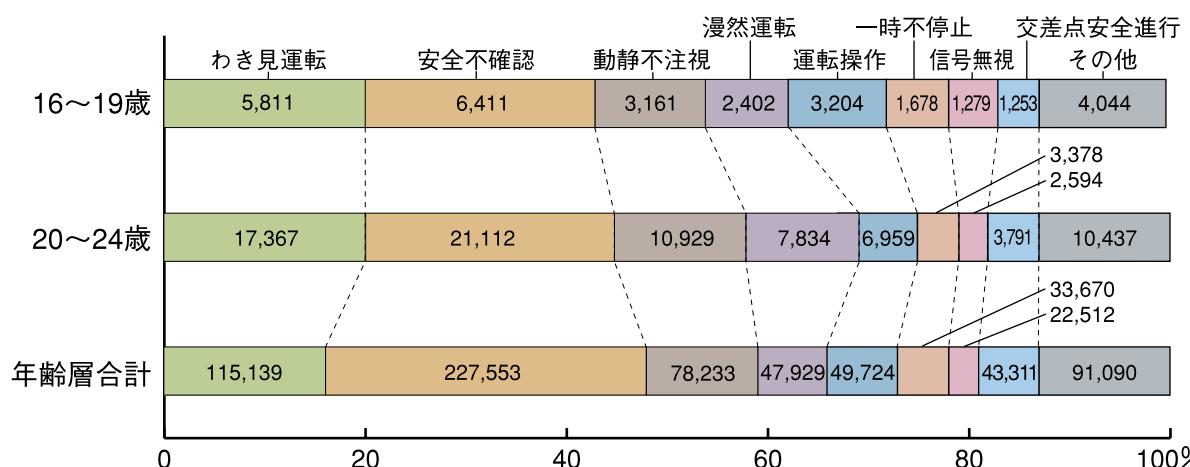
わき見は大きな事故につながります。

コラム 1

事故と違反

事故を起こしたときの違反は、操作に関するものより、わき見や安全不確認などが多いのです。

グラフ1 自動車(原付以上)運転者の法令違反別・年齢層別交通事故件数(第1当事者)※



※第1当事者:加害者

(財)交通事故総合分析センター 平成20年

●運転に大切なことを理解する

運転は「見ること」「注意を向けること」が大事。

運転は見る→判断する→操作する というプロセスで行われる

四輪車や二輪車の運転で重要なのは車を操作する運転テクニック(操作スキル)と考えがちですが、実際には「わき見」や「安全不確認」という行為(認知、判断などのメンタルスキル)が、事故原因の多くを占めていると推定されています。

グラフ1(コラム1)は人身事故の第1当事者(加害者)になった車の運転者(原付以上)の主な法令違反をまとめたものですが、「わき見」「安全不確認」「動静不注視」「漫然運転」だけで過半数を超えており、4つとも、「見る」という行為に関係しています。

「見る」を誤ると、判断、操作ミスをまねく

「わき見」は走行中に必要な交通の動きなどから一時的に目をそらし、別のものを見ていることをいいます。「わき見」には左右の風景に見とれるだけでなく、振り向いて同乗の友達に話しかけたり、ナビ、テレビ、

携帯電話の画面やプッシュボタンに視線を当てることも含まれます。その間、運転に必要な視覚情報はゼロになり、周りの車や人の動きに変化が起きたら、追突などの事故になります。

速度計を見る、ドアミラーを見るなど、運転に必要な情報を取るために進行方向から目をそらす行為も、長く見ていればわき見になります。1秒間に進む距離は15km/hでは4.17m、40km/hでは11.11mです。

「安全不確認」は、進む方向に危険があるかどうかを確認しないで、行動を起こしたことをいいます。「動静不注視」は、見ることは見るが、見えているものの意味や、それが持つ危険性に気づかなかったり、危険性を過小評価した結果、注意を向けるのをやめたり、対応しないことです。

運転は、認知(見ること)→判断→操作の繰り返しです。最初の「認知」を怠ると、その後の判断、操作に影響する、ということを忘れないようにしましょう。



前方一点だけでなく、周囲への目配り、気配りを忘れずに



新聞や本などの資料、インターネットなどを使って、調べて考えてみましょう

- 家族の運転する車に同乗するなどの際に、運転者 →

がどこを見ているかを観察し、わき見をするときはどういうときか、観察しチェックしてみましょう。

- わき見運転をしないためには、運転者はどういう →

ことをすればいいと思いますか？ 同乗者として何ができますか？

- 道路上で、「危険だな」と思うのはどのような運転 →

を見たときですか？



MESSAGE

多くの事故は知覚の誤り、「錯覚」で起こる

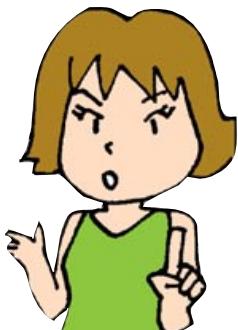
野口 薫 日本大学教授 千葉大学名誉教授

新聞やテレビで、若者がスピードを出しすぎて「運転の操作ミスで」カーブを曲がりきれなくて崖下に転落した、といったニュースを聞くことがあります。しかし実際は操作ミスではなく、そんなに曲がっているとは思わずスピードを落とさなかったというような、認知・判断のミスなのです。

実際は100km/h出でいても70km/hに感じたり、下り坂なのに上り坂に見えたりする「錯覚」は、健全な目と脳を持っている限り、いくら注意しても避けることができない厄介なものです。どのような交通場面でどのような錯覚が生じるか、あらかじめ理解しておいて、適切な行動をとる以外に方法はありません。

高校生ですと、実際に四輪車を運転することはあまりないでしょうが、ドライバーの目からは、歩行者、自転車、二輪車がどのように見られているかを理解しておくことが重要でしょう。

この画面の中にどんな危険がありますか？(原付運転中)



高校生の原付事故の相手は、4分の3が四輪車。
立場が違うと、見ているものも見え方も違います。
自分がどのように見えているか、相手からの見え
方も考えて、危険を予測した運転が事故を防ぎます。

まとめクイズ

友達や家族の方とやってみましょう

あなたは原付を運転して下のような青信号の交差点にさしかかりました。

あなたはこの交差点を越えてまっすぐ進むつもりです。



Q1. どのような危険がありますか？

Q2. どのような行動をとればよいと思いますか？



→解答は次ページに！



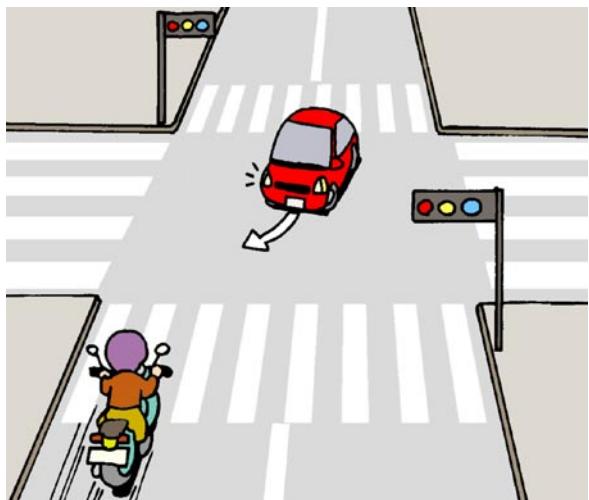
まとめクイズの解答と解説

A1. No 見通しのよい交差点で青信号を直進、というケースで、一見何も危険はないように思えます。しかし、自分から見えているからといって、相手も自分のことを見ているとは限りません。以下のような危険が考えられます。

- ・右折待ちの車のドライバーは、四輪車の流れに目がいっていて、車体の小さい原付を見落とすかもしれません。
- ・原付の前の四輪車が通過したところで、車の流れがとぎれたと思い、右折を開始するかもしれません。
- ・車体の小さい原付は、実際よりスピードが遅く感じられたり、遠くを走っているように錯覚されやすいため、右折待ちの車のドライバーは「大丈夫」と判断して右折を始めるかもしれません。
- ・右折待ちの車のドライバーは「相手は原付だから、こちらに譲って先に行かせてくれるだろう」と思いこんで、右折を開始するかもしれません。

(このほかにも、お友達や家族の方と話し合い、思いつく危険があればあげてみましょう)

A2. Yes 実際に、A1のような原因で、交差点での直進の二輪車と右折の四輪車の事故は多くなっています。たとえ自分の側が青信号でも、右折待ちの四輪車がいるときには、見落としや勘違いで出てくる可能性を考えて、相手の動きをよく見ながらすぐに危険に対応できる運転をすることが大切です。



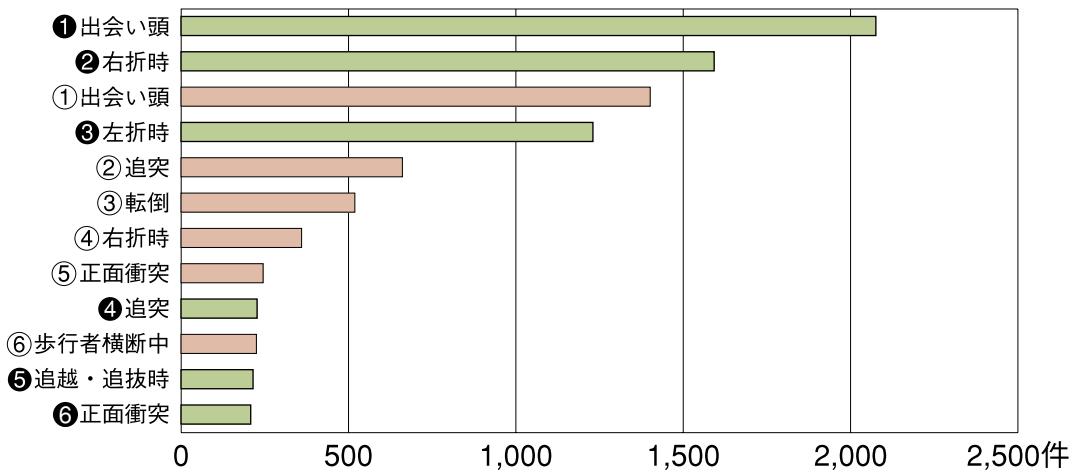
右折待ちの四輪車の動きをマークしましょう

コラム 1

原付に多い事故パターン

事故でもっとも多い「出会い頭」は、信号のない交差点でよく起きます。
2番目の「右折時」は、四輪車が右折中に起きるケースが目立ちます。

グラフ1 16~18歳の原付事故ワースト12 (白丸：第1当事者※、黒丸：第2当事者※)



※第1当事者：加害者 ※第2当事者：被害者

(財)交通事故総合分析センター 平成20年

●「危険を予測する」ことの大切さ

「相手は自分を見ていないかもしれない」「見落としているかもしれない」
さまざまな危険を予測することが大切。

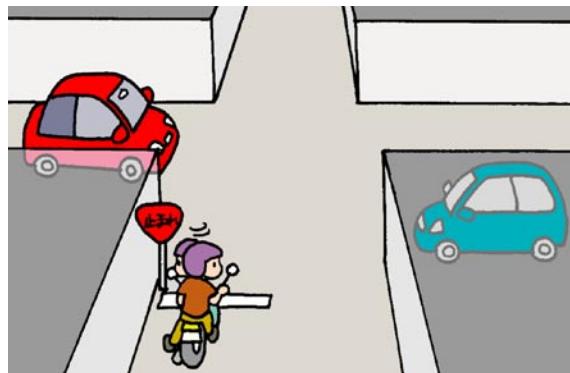
事故原因のワースト2は 「安全不確認」「わき見運転」

コラム1のグラフ1は、高校生(16~18歳)の原付事故に多いケースです。「出会い頭衝突」「右折時衝突」「左折時衝突」と、交差点での事故が非常に多くなっています。

これらの事故がなぜ起こったのかを表しているのが、下のコラム2のグラフ2です。白丸数字の部分、つまり原付運転者の方により過失があった事故の原因を見ると、ワースト1が「安全不確認」、ワースト2が「わき見運転」です。安全を確認していない、わき見をしているということは、危険があると思わなかつたということです。

危険予測運転をしていれば、防げた事故だと考えられます。

相手の方により過失があった事故の原因では、原付側の違反ワースト1は「動静不注視」、ワースト2は「安全不確認」です。「動静不注視」とは、相手の動きをきちんと見ていなかつたということです。



見えない車などの動きを予測しましょう

思いこみが事故を招く

1ページの「復習問題」でやったように、相手のドライバーからは見えていると思って、相手の動きを注意して見ないで進むと、相手が原付の存在を見落としていた場合、事故になります。

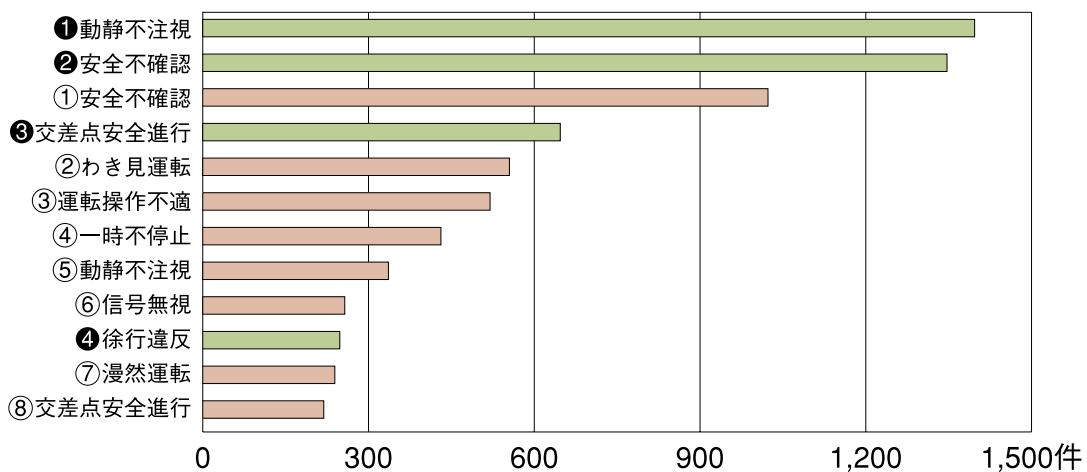
お互いの「何も出てこないだろう」「相手は停まってくれるだろう」という思いこみや油断が、危険見えなくして、事故につながります。交差点には常に事故の危険があるということを意識して、運転しましょう。

コラム 2

原付事故と違反

ワースト12のうち、操作に関するものは6番目の「運転操作不適」だけです。
「動静不注視」「安全不確認」など、きちんと交通状況を見なかつたことなどが原因です。

グラフ2 16~18歳の原付事故の主な法令違反ワースト12(白丸:第1当事者、黒丸:第2当事者)



(財)交通事故総合分析センター 平成20年



新聞や本などの資料、インターネットなどを使って、調べて考えてみましょう

- 1.今まで原付を運転しているときには、
どんなことに気をつけていましたか?
今日の授業を受けて、これから気をつけようと
思ったのはどんなことですか?
 - 2.家の周りや通学路で原付を運転していて、
今までヒヤリとしたり事故にあった経験はありますか?
そのときのことを思い出して、下の枠の中に危険予測の問題を作ってみましょう。
 - 3.2.で作った問題を友達や家族の方とやってみて、
安全な通行方法について話合いましょう。

【あなたが作る危険予測問題】

あなたの身近な場所でのヒヤリ体験から、危険予測問題を作ってみましょう。

●右の場面の解説

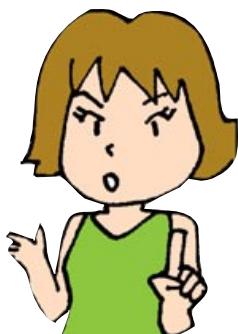
Handwriting practice lines consisting of five sets of horizontal dashed lines for letter formation.

(ここに危険場面のイラストや写真を貼りましょう)

●どのような危険がありますか？

●どのような行動をとればよいと思いますか？

事故現場であなたができること



事故現場にたまたま居合わせる、ってことがあるかもしれない。そんなとき、正しい対応の仕方を知っていることで、人の命を救える可能性があるんだよ。

まとめクイズ

Yes、Noのどちらかを選んでください

**Q1. 事故現場で倒れている人がいても、
救急車が来るまでは何もしないほうがいい。** Yes No

**Q2. もし救急車の到着までに応急手当をして、
その結果症状が悪くなっても、一般人の場合、Yes No
責任を問われない。**

**Q3. 交通事故現場では、負傷者の手当も重要だが、
二次災害が起こらないよう、発炎筒をたいしたり、
ハザードランプをつけて後続車に知らせる、
といった安全確保も大切である。**

Q4. 救急車を呼ぶ電話番号は110番。 Yes No



→解答は次ページに！



まとめクイズの解答と解説

Q1. No

ケガの程度や部位によりますが、救急車到着までの時間に適切な応急手当をすると、1ヶ月後の生存率が1.5倍になる、というデータがあります。救命講習などで救急法を学んでおくと、こういうときに役に立ちます。

Q3. Yes

救助者の安全確保は重要です。安全確保をしなかったために、ケガをした人も救助に向かった人も、後続車にはねられてしまうことがあります。

Q2. Yes

応急手当を積極的にしたくない理由の1つが「手当をしたために症状が悪くなったら責任を問われるかもしれない」です。しかし、刑法及び民法で、訴えられることがないよう配慮されています。

アメリカには「グッドサマリアンロー」(善きサマリア人法)があります。善意で救命処置をした人は、手当のミスの責任は問われないという内容です。

交通事故現場では、何もしないことのマイナスの方がはるかに大きいのです。ためらわずに救護の手をさしのべましょう。

Q4. No

119番です。とっさのことで間違って110番通報をしても、「交通事故です」というと、消防署に転送してくれます。

携帯電話で連絡するときは、途中で切れたり、119番につながらないことがあります。コラム2を参考にしてください。



交通事故の現場に
居合わせた人の「応急手当」が
ケガ人の救命率を高めます。

コラム 1

救急救命の鎖

救急救命は鎖に例えられています。第2の「早い応急手当」がないと、4つの鎖はうまくつながりません。

早い通報

早い応急手当

早い救急措置

早い医療処理

家族や近くにいる人

救急隊

医療機関

●交通社会人として自覚をもとう！

交通事故現場では、
何もしないことのマイナスの方が大きいのです。
ためらいを捨てて、勇気を持って行動しましょう。

救急車が到着するまでの7分が重要

事故現場では、第1に「早い通報」、第2に居合わせた人による「早い応急手当」、第3に救急救命士による「早い救急措置」、第4に医療機関における「早い医療処置」が重要です。これを「救急救命の鎖」(コラム1)といいますが、中でも第2の応急手当はとても重要です。

救急車が到着するまで平均7分。この間に近親者などによる応急手当を施された人は、それほど多くはありません(例:心肺機能停止者のケースでは47.6%)。「やり方がわからない」というのが大きな理由です。救急法の講習会などをを利用して、心肺蘇生法やAEDの使い方などを学んでおくといいでしょう。

現場に居合わせた人が 手分けをして助けよう

他にも、負傷者を安全な場所に移動させる、後続車や周囲の人に協力をお願いするなど、できること



救急車がくるまでにできることをチェック

はたくさんあります。知らんふりをして通り過ぎるのではなく、人の命がかかっているのですから、積極的に協力するようにしましょう。

コラム 2

携帯電話で119番するときの注意ポイント

消防本部

通報する人

- 1.火事ですか、救急ですか? → 救急です。
- 2.何区(市)、何町、何丁目、何番、何号ですか? → ○市(区)△△町□丁□番□号の★★ビルの前です。
- 3.どうしましたか? → 交通事故です。
(「はざまれている」等、できるだけ内容を具体的に言ってください)
- 4.よろしければあなたのお名前と電話番号を教えてください。 → ○○です。
電話番号は、□□□-△△△△-XXXXです。

携帯電話の場合、通報者が今いる場所がわからない場合が多く、事故発生場所を聞き取るのに時間がかかる傾向があります。付近の目標となる建物や住居表示板等に表示されている所在を確認して通報することが重要です。



友だちと話す、本や資料、インターネットを使って、調べて考えてみましょう

・応急手当とはどういったものか、調べてみましょう。➡

・救急救命士とはどういった仕事か、
調べてみましょう。

➡-----

・事故現場に居合わせたことがあるか、
そのときどんな対応をしたか、
家族や周りの人にたずねてみましょう。

➡-----



M E S S A G E

救命は時間との勝負。安全を確認し、119番へ

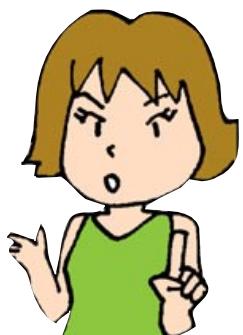
岡部孝夫 東京消防庁 救急部救急指導課 課長補佐兼救急普及係長

交通事故の現場に居合わせたら、まずハザードランプなどで事故車両であることがわかるようにし、ケガ人を安全な場所に移動させ、すぐに119番通報をしてください。事故で重傷を負った人の処置は時間との勝負です。素早い通報とともに、救急隊到着までの間、その場に居合わせた人が協力しあって、救命手当を行うなどしてください。

「オートバイ同士の交通事故で左腕を骨折したライダーに、通りがかりの女子高生が、自分のマフラーと近くの木材を使用して骨折固定処置を行った」「乗用車とトラックの事故で車に閉じこめられたドライバーを高校生と社会人が協力して救出。高校生が持っていたタオルで止血処置をした」などの実例があります。

2例とも、迅速な応急手当のおかげで大事には至りませんでした。全国の消防署では、救命講習を開催していますので、ぜひ一度受講していただきたいと思います。

通学路の危険個所マップづくり



通学路でヒヤリハットした体験をみんなで話しあって地図にプロットしていくと、事故にあわないように気をつけるべき場所がわかるようになるよ。

まとめクイズ

Yes、Noのどちらかを選んでください

Q1. 小さなヒヤリハット体験を少なくしていくと、大きな交通事故も防ぐことができる。

Yes **No**

Q2. ヒヤリハットする場所はみんな同じだから、人の意見を参考にする必要はない。

Yes **No**

Q3. 多くの人がヒヤリハットしているが、これまでに交通事故が1件も起きていない場所は安全だ。

Yes **No**

Q4. 自転車や歩行中の事故の約50%は、家から500メートル以内で起きている。

Yes **No**



→解答は次ページに！



Q1. Yes

1件の重大事故の背景には、29件の小さな事故があり、29件の小さな事故の背景には300件のヒヤリハット体験があるといわれています。研究した学者の名前をとって「ハインリッヒの法則」といいます。大事故を起こさないために、小さなヒヤリハットの場面をなくしていくことが重要です。

Q2. No

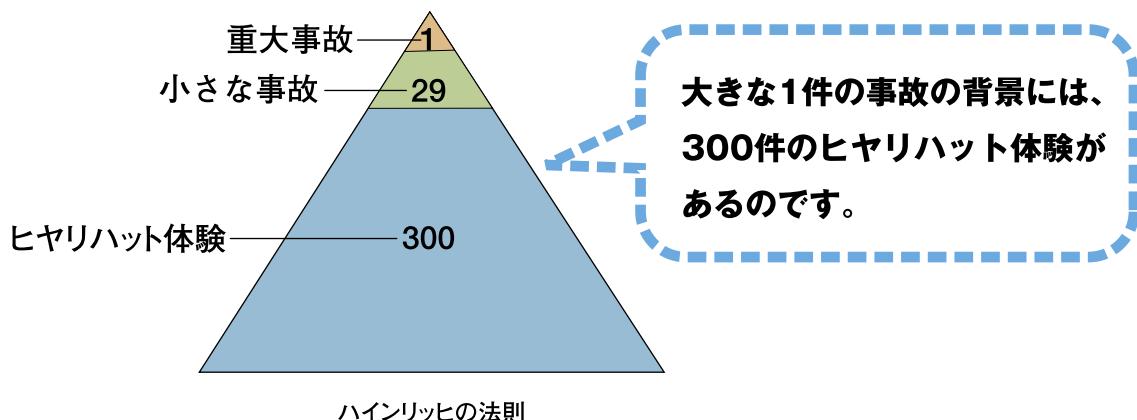
ヒヤリハット体験は、共通する部分もありますが、自分では今まで経験したことがなかったような場所でヒヤリハット体験をしている人もいます。互いに経験を話しあうことで、気をつけなければならぬ場所を知ることができます。

Q3. No

これまでに事故がなくても、ヒヤリハット体験をたくさん的人がしている場所は、これから事故が起こる可能性の高い場所です。みんなで事前に事故を防ぐ対策を考えてみましょう。

Q4. Yes

歩行者や自転車事故は、身近な場所で起きているということです。高校で危険個所マップを作った経験を、住んでいる地域の小学生やお年寄りにも広げる活動をすると、地域の事故を減らすために効果があがるはずです。



コラム 1

危険個所マップをもっと有効に活用するために

みんなで作る「危険個所マップ」づくりの次のステップとして、実際に事故が起きた場所を示す「事故マップ」をつくる、2つを比べてみましょう。以下の3つのパターンがあることがわかります。

1. ヒヤリとしている場所で事故が起きているケース
危険個所として覚えておきましょう。
2. ヒヤリとしているけれど事故が起こっていないケース
事故が起きる可能性の高い場所として、意識して通過します。
3. ヒヤリとしていないのに事故が起こっているケース
ヒヤリとしていれば注意しますが、ヒヤリとしていないのに事故が起きているため、とくに注意が必要な場所です。



新聞や本などの資料、インターネットなどを使って、調べて考えてみましょう

- 学校で話しあってヒヤリハット体験が多かった場所で、交通状況を観察してみましょう。危ない場面を写真にとったり、ビデオで交通状況を一定時間収録するのもいいでしょう。



- 撮った写真や映像を見ながら、ヒヤリハットを防ぐ方法を話しあってみましょう。



- 家族にもヒヤリハット体験を聞いてみましょう。



M E S S A G E

高校生の危険マップづくりを 地域のボランティア活動につなげよう

鈴木春男 自由学園最高学部長 千葉大学名誉教授

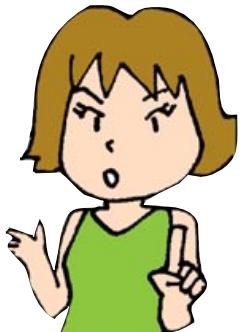
高校生の危険個所マップ作りは、自分たちが上げた成果を、地域の高齢者や小・中学生に伝えていくところまで行うことは大変よいことだと思います。

高齢者を例に取れば、事故の現状を高齢者に説明することを通して、「高齢者の事故を減らすための交通安全教育をする」という役割が与えられます。説明のさい高齢者から交通ルールなどの質問が出たときに答えられないとまずいので、高校生自身の勉強になります。同じ手法で、高校生が、小学生や中学生を対象にも活動ができます。

また危険個所マップを作って警察や道路管理者へ危険個所の改善提案をする、ということも考えられます。

「今自分たちの周りの問題で何が重要なのか」ということを高齢者や小・中学生に発見してもらうことが大事です。危険マップ作りは、その動機付けにもなります。

四輪車の免許を持つことには、プラス、マイナスの両面がある



四輪車の運転ができると、友達同士でドライブに出かけたり、家族を病院へ送り届けたりと、いろいろ便利。その反面、さまざまな責任もともなう、ということを忘れないで。

まとめクイズ

Yes、Noのどちらかを選んでください

Q1. 同乗者を乗せて四輪車を運転中、
ガードレールにぶつかるなどして、
単独で事故を起こし、同乗者にケガをさせたら、
運転者は加害者としての責任を問われる。
Yes **No**

Q2. 四輪車は大きく、また目立つため、
自転車や歩行者のほうがよけてくれる。
だから、自転車や歩行者の動きを気にする必要はない。
Yes **No**

Q3. 車を持つと、自賠責保険料や駐車場代、
定期点検費用など、
ガソリン代以外の費用が発生する。
Yes **No**

Q4. 各年齢層ごとの
普通免許保有者数と事故件数の比率を見ると、
全年齢層で18歳が一番高い。
Yes **No**



→解答は次ページに！



まとめクイズの解答と解説

Q1. Yes

車を運転することは自分の命だけでなく同乗者の命も預かることになります。普通、事故は車と車、車と歩行者というように第1当事者(加害者)と第2当事者(被害者)がいて、双方に責任が発生しますが、この問題のようなケースでは衝突の相手がガードレールなので、運転者だけが第1当事者として責任を問われます。

Q3. Yes

車を買うための費用だけでなく、その他の維持費もかかります。

- ・万一の事故に備えた自動車保険(自賠責保険、任意保険)
- ・車の性能を維持するための定期点検・整備費、車検
- ・自動車税
- ・駐車場代やガソリン代 など

Q2. No

自転車や歩行者は、車のほうが自分に気づき、注意してくれると思っているかもしれません。車は車体が大きくスピードも出るため、いったん自転車や歩行者に接触すると大きな事故になる可能性があります。

Q4. Yes

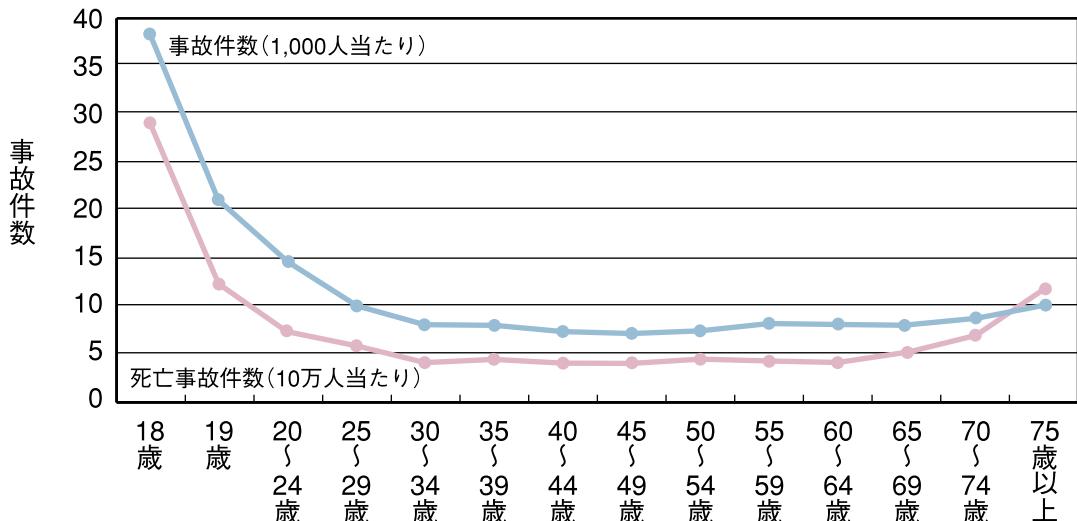
18歳は普通免許取得年齢に達したばかりのため、事故による負傷者、死傷者数は他の年齢層(成人や高齢者層)と比較すると少なくなっています。しかし、若者ドライバーの事故発生率(各年齢層の免許保有者数あたり事故件数、死傷者数)は群を抜いて高くなっています。(コラム1)

コラム 1

18歳は四輪車の事故を起こしやすいとき

普通免許を取得した18歳の人たちが交通事故を起こした比率を、その他の年代と比べて見たのが下のグラフです。各年齢層の免許保有者1,000人当たりの事故件数(死亡事故は10万人当たり)の負傷者数、死者数を他の年齢と比べると群を抜いて高くなっています。

グラフ1 年齢層別四輪免許保有者に対する
四輪運転者の事故、死亡事故件数(第1当事者)の比率



*第1当事者:加害者

(財)交通事故総合分析センター 平成20年

●免許を持つことは楽しいことばかりではない

一番大きな変化は人の命に責任を持つことです。

事故を起こしたら

刑事・民事・行政責任を問われる

18歳の誕生日を迎えると、普通免許が取れるようになります。二輪免許を取ったとき以上に、一人前の大人になったような気分になるでしょう。

車が運転できれば行動範囲が広がるし、友達と一緒にいつでもかけられるなど自由が広がります。車のある新しい生活に楽しい夢や期待を持つのは当たり前のことです。

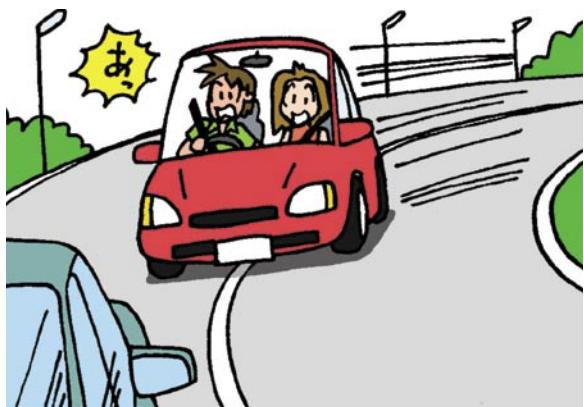
しかし、免許を取って車を運転するのは、楽しいことばかりではありません。

運転するときには道路交通法に従う義務があり、違反すると罰せられます。事故を起こすと、刑事、民事、行政責任等が問われます。未成年であっても賠償金が請求されます。就きたい職業に就けなくなることもあります。

車の維持費を計算してみよう

車を持てば自賠責保険、任意保険に加入したり、ガソリン代や駐車場代、点検・修理代など、経済的な負担もかかってきます。免許取得によって、得られるものは多いのですが、失うものもあることをよく理解しておきましょう。

道路交通法では、運転者は事故を起こさない、安全運転をすることが求められます。自分の命だけでなく、一緒に道路を使う人（歩行者と自転車、二輪車、四輪車の運転者と同乗者）の命を守る義務も負うこと覚えておきましょう。



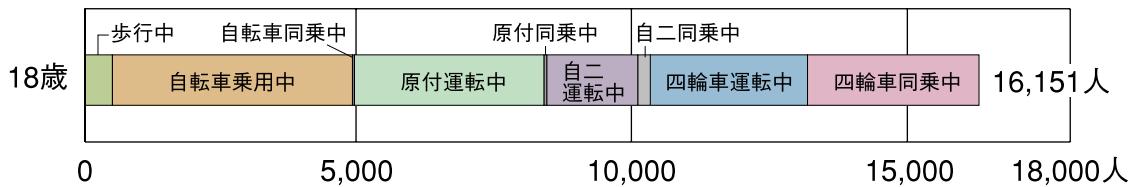
運転は楽しいけれど、責任も伴う

コラム 2

同乗者をケガをさせたら、加害者になる

下のグラフは18歳で、どんな乗り物に乗っているときに事故が多いかを示しています。四輪車に乗っているときの事故が一番多く、その半分が四輪車同乗中の事故です。事故の責任というと、みなさんは四輪車の事故の相手になる歩行者や自転車、二輪車、四輪車を責任の対象として思い浮かべませんか。クイズにもありましたか、同乗者をケガさせたときも、運転者は同乗者に対して加害者として責任をとらなくてはいけません。このことを忘れないでください。

グラフ2 18歳の状態別死傷者数



(財)交通事故総合分析センター 平成20年



- あなたは四輪車の免許を取得する予定ですか？ →
取るとしたらいつごろですか？免許を取得するにはどうすればいいのか、調べてみましょう。

- 家族や周囲の人に普通免許を持っているか、いつ、なぜ取得したのか、たずねてみましょう。

- 自宅に車がある場合、購入費や維持費にどれくらいかかっているかたずねてみましょう。



交通安全教育は日々の生活から

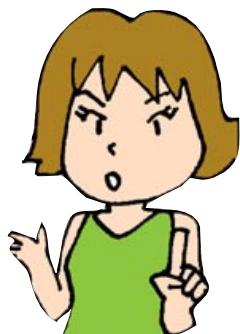
岡村和子 警察庁科学警察研究所交通科学部交通科学第2研究室 主任研究官

MESSAGE

日本では、幼い頃からの交通安全教育が、十分になされているとはいえない状況があります。たとえば、高校生に限らず、大人でも、自転車は軽車両として道路交通法が適用されることや、飲酒運転が禁止されていることを知らない、というのが現状です。幼児が親と一緒に歩いて外出する、あるいは親の運転する自動車に乗るといった日常的な体験の中で、歩行者としての、あるいは同乗者としての訓練は始まっているはずなのです。同乗者として、どこの座席に座っていても、その人に合ったシートベルトを着用する習慣が身についていれば、大人になってもその習慣は消えないでしょう。

交通安全教育は日々の交通と接する日常生活の中で、周囲の大人も意識して行っていくべきだと思います。公共交通も交通安全教育の重要な題材です。バスや電車の車内でのマナーの悪い人が、バイクや自動車に乗ったら急に他の歩行者や運転者を思いやる安全運転をするようになるとは思えません。

エコロジーと車の運転



地球温暖化の原因である二酸化炭素の排出量を少なくするために、日常生活の中でもできることがあるんだよ。環境問題に意識的に取り組み、将来、車の運転をするときも二酸化炭素排出量の削減に貢献するような運転をしよう。

まとめクイズ

Yes、Noのどちらかを選んでください

Q1. 車は運転の仕方によって、
二酸化炭素の排出量を減らすことができる。 **Yes** **No**

Q2. 冷房の温度を1°C高く、暖房の温度を1°C低くすることで、
二酸化炭素排出量は減らせる。 **Yes** **No**

Q3. 車の運転中、5分程度の停車なら
エンジンを切っても切らなくても、
二酸化炭素排出量は変わらない。 **Yes** **No**

Q4. テレビを見る時間を1日1時間減らすと
二酸化炭素排出量を削減することができる。 **Yes** **No**



→解答は次ページに！



まとめクイズの解答と解説

Q1. Yes

空ぶかしをしない、急加速をしないなどの運転でガソリンの消費量が減り、排出される二酸化炭素(CO₂)量が削減されます。(コラム2)

Q3. No

たとえ5分でも、停車中にエンジンを切ると二酸化炭素排出量を削減することができます。
(コラム2)

Q2. Yes

冷房の温度を1°C高く、暖房の温度を1°C低くすると、年間約33kg-CO₂の二酸化炭素を削減できます。

Q4. Yes

テレビを見る時間を1日1時間減らすと、約14kg-CO₂の二酸化炭素を削減できます。



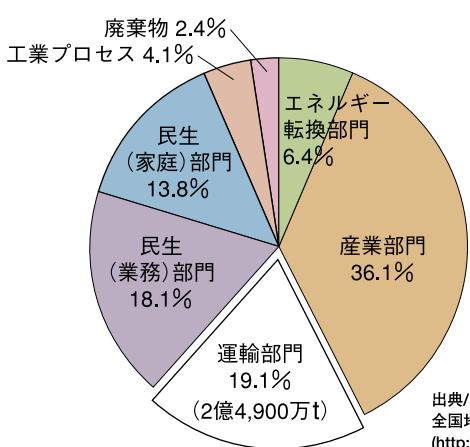
運転の仕方を変えることで、CO₂の排出量を減らすことができます。

コラム 1

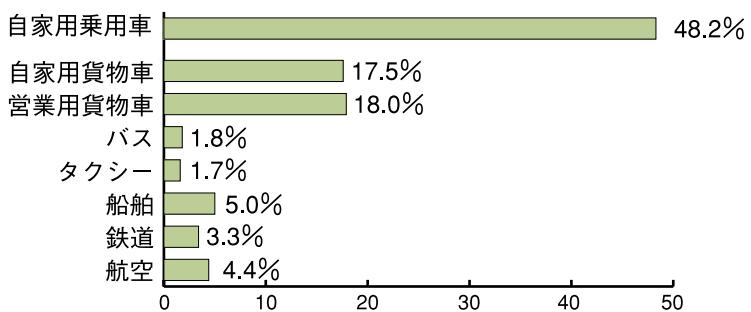
車の運転とCO₂排出の関係

二酸化炭素は、グラフのように人間の営みのある、あらゆる所(工場もオフィスも家庭も移動する乗り物も)で排出されています。私たちが主として削減に貢献できるのは、家庭や学校、移動手段など生活の場所です。

グラフ1 部門別のCO₂排出割合
(2007年13億1,400万t)



グラフ2 運輸部門のCO₂排出量
(2007年2億4,900万t)



出典/ 温室効果ガスインベントリオフィス
全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト
(<http://www.jccca.org/>)より

資料／国土交通省

●地球温暖化防止のため、日常生活でできること

「ちりも積もれば山となる」
今日から始めよう、環境を意識した生活。

交通安全と環境対策には共通点がある

よい交通参加者となるためには、「自分や他者の命を大切にする」「危険につながる自分本位の行動はひかえる」「社会が決めているルールや目標を尊重する」といったことをふだんから心がける必要があります。環境問題についても同じです。1人の人間という立場で考えると、環境問題に意識的に取り組むことは、よい交通参加者となることと、本質的なところで共通しています。

CO₂排出削減のために 四輪車の運転の仕方が重要

自動車が関係する環境問題には、地球温暖化(CO₂)、大気汚染(CO、NOX)、省資源(燃費、リサイクル)などがあります。地球温暖化防止のため二酸化炭素の排出量削減のために、日々の生活の多くの場面ですぐに実行できることがたくさんあります。今から意識して行うと、将来、四輪車を運転するようになったときも、自分本位でない、高い社会性を備えたドライバーになれるでしょう。

日本から排出される二酸化炭素の約19%は、運輸



環境に優しい運転のために、できることから始めよう

部門で占め、その約90%が四輪車の排気ガスによっています(コラム1)。二酸化炭素削減に貢献するため、国が税制(自動車税、自動車取得税)の軽減措置を通して薦めているような自動車を購入することもいいですね。

コラム 2

二酸化炭素削減に協力できる、運転の仕方

- ・停車して待つときなど、アイドリング・ストップを心がける
- ・カーエアコンの使用時間を減らす
- ・空ぶかしをしない
- ・タイヤの空気圧を適性に保つ(空気圧が低いと転がり抵抗が増える)
- ・トランクの中などに不要な物を入れたままにしない
- ・急発進・急加速をしない
- ・等速走行を心がける
- ・むだな走行をしないために、あらかじめ地図でルートを調べる
- ・渋滞の時間帯を避けて走行する

考えてみよう

- 現在あなたが行っている環境に優しいことは何ですか？



- 普段、路上で見かける環境に優しくないドライバーの行動は？



- 将来、車を買うとしたら、何を基準にどんな車を選びますか？

- 現在販売されている、どんな自動車が環境に優しいのか、調べてみましょう。



MESSAGE

コストを意識した運転は、環境にも優しい

堀内武徳 堀内経営研究事務所 所長

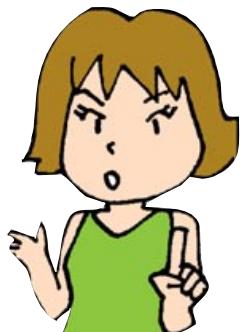
コストを抑える運転とは、どのような運転でしょうか。端的に言うと、1リットルのガソリンでできるだけ長い距離を走ることです。

それには、タイヤの空気圧などの日常点検をしっかりと行い、急ブレーキ、急加速、急発進といった「急」のつく運転はしないことです。カーブを曲るとき、タイヤを鳴らすようでは、タイヤの寿命を縮めてしまいます。スピードの出しすぎ、蛇行運転などは、不必要的燃料を消費します。アイドリングもできるだけしない。そして、安定した等速の運転を心がけます。車間距離が短いと、前の車の動きに影響されてしまい等速運転ができなくなるので、十分な車間距離も必要です。

このような運転をすると、東京一大阪間を日常的に往復する大型トラックで、年間1台20万円の節約ができる、という試算もあります。また、コストを意識した運転は、安定していて、交通事故防止にも大変役立ちます。

環境に優しいエコドライブは、結果的に事故を起こさない運転につながるというわけです。

路上でよいコミュニケーションをとれることが、よいドライバーの条件



混雑した交差点などを渡るとき、知らず知らずに他の歩行者にぶつからないよう歩いてると思う。それって実はとても重要なこと。相手が車でも同じこと。ぶつかると大きな事故になる可能性も高いから、路上でのコミュニケーションって大事なんだよ。

まとめクイズ

Yes、Noのどちらかを選んでください

Q1.自分は下を向いたり、よそ見しながら歩いても、
他の歩行者、自転車、四輪車などが
自分を避けて通ってくれるからよい。

Yes **No**

Q2.信号機のない交差点を歩いて横断しようとしていると、
やや遅めのスピードで車が近づいてくるのが見えた。
ドライバーが携帯電話らしいものを耳にあてているので、
その車が通り過ぎるのを待ってから渡ったほうがいい。

Yes **No**

Q3.雨の日に歩道を歩いていると
前方から傘さし自転車がやって来た。
自分を見ていないかもしれないと思い、脇へよけた。

Yes **No**

Q4.友達と並んで歩くとき、
後ろから急いでる人や自転車が来たら、
いつでも道を開けられるように、
周囲に気を配って歩く。

Yes **No**



→解答は次ページに！



まとめクイズの解答と解説

Q1. No

相手もあなたを見ていませんからかもしれません。コミュニケーションはお互いにしてこそそのものです。

Q2. Yes

ドライバーがあなたを見ていれば止まってくれるでしょうが、運転中に携帯電話に注意がいつていると、横断者に気がつかない場合があります。(運転中の携帯電話使用は道路交通法違反。ルールを守らないドライバーは危険なドライバーと考えましょう)

Q3. Yes

さしている傘がじゃまして、あなたに気づいていない可能性が高いので、自分から衝突を避けるためわきによけたのは正しい対応です。

Q4. Yes

道幅にもよりますが、狭い道ではたとえ2人でも周りの人にとっては迷惑なものです。邪魔にならないよう気を配りましょう。



携帯電話をかけていると、周りの人とよいコミュニケーションがとれなくなります。

コラム 1

四輪車の言葉

四輪車のドライバーは、歩行者や他の四輪車に情報を発進しています。たとえば、

- ・ホーンを鳴らすのは、見通しの悪い場所では警告
- ・ウインカーの点滅は右左折や左右への進路変更をするという意思表示
- ・走行中の四輪車のハザードランプ点滅は「停止します」または「ありがとう」
- ・ブレーキランプはブレーキペダルを踏むと点灯する。減速か停止の警告

を意味しています。



●コミュニケーションを取り合おう

相手の情報を自分から積極的にとり、事故を防ごう。

歩くことと運転することの共通点

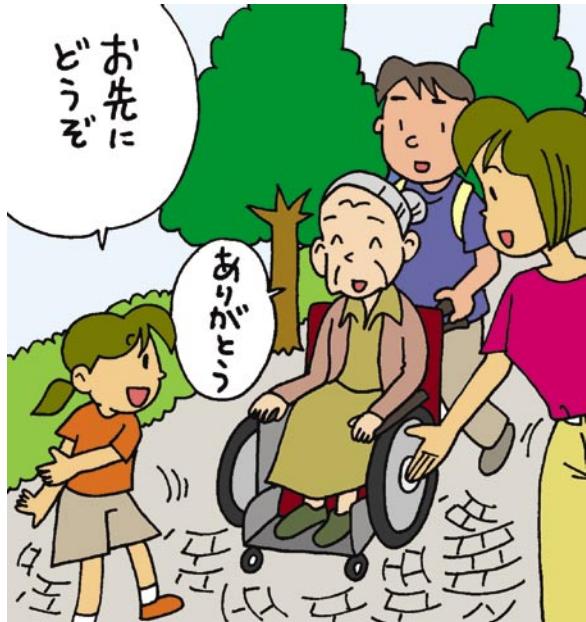
社会は、言葉や身体などを使ってコミュニケーションを取り合うことで円滑さと安全が保たれています。たとえば混んだ電車に乗っていて降りる駅が近づいてきたとき、「降ります」と声をかけると、横に寄ってくれます。黙って乗客を押したり、かき分けたりするとトラブルのもとになります。

交通の場面でも、歩行者同士、歩行者や自転車利用者と車のドライバー、車のドライバー同士の間のコミュニケーションが不十分だと、事故になる可能性が高くなります。

たとえ相手にコミュニケーションを積極的にとる意思がない場合（携帯電話でメールを打っている、マンガを読んでいるなど）でも、相手の行動を見て、その人がどういう人かを判断し、次に何をしそうか、それはどんな変化を、あなたとその人の間に起こすか、注意して、情報をとり続ける必要があります。

コミュニケーション不足がもたらす問題

歩行者同士の衝突は、めったにケガになりませんが、相手が高齢の方だと大ケガになることがあります。



コミュニケーションを大切に

歩行者と車の衝突は当然大きな人身事故になります。右左折の合図を出さないで曲がってくる四輪車や、左右の安全（歩行者や自転車の存在）を確かめない四輪車がいるということを知り、歩行者側は積極的、自発的に情報をとるようにしましょう。

コラム 2

歩行者や自転車の言葉

夜間、ドライバーはヘッドライトや道路照明などのあかりを頼りに情報をとって走っています。

歩行者や自転車乗用者は、自分がいることを知らせるために、

- ・白っぽい服装
- ・反射材
- ・（自転車なら）さらにライトをつける

などして、自ら情報発信しましょう。



服の色によって見え方が変わります





新聞や本などの資料、インターネットなどを使って、調べて考えてみましょう

- 家族や知り合いの車に同乗する際、ドライバーが → どんなふうに他のドライバーや歩行者などとコミュニケーションをとっているか、観察してみましょう。
- あなたは歩行中や自転車乗車中、人とのコミュニケーションの取り方が上手なほうだと思いますか？もしそう思わない場合、それはなぜか考えてみましょう。
- 歩行者として、自転車運転者として、どう情報発信 → をしていますか？
- 自転車のライトはきちんとつくか、点検しておきましょう。



M E S S A G E

コミュニケーションの基本は挨拶

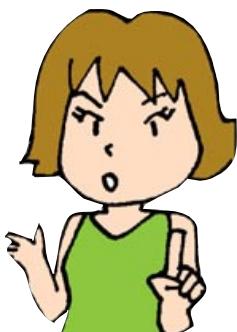
蓮花一己 帝塚山大学教授

笑顔は万国共通です。挨拶は国よってさまざまです。笑顔と挨拶で、相手に対して敵意がないことを示しているのです。日本のお辞儀は自分の首をさらして、どうぞご自由に、と差し出すことですね。挨拶をすることで、その後の人間関係をスムーズにします。

挨拶の基本は相手の目を見ることです。アイコンタクトというのは非常に大切です。交通状況では少し距離があるので、実際にドライバー同士目を合わせてコミュニケーションをとる、ということはなかなかできません。その代わりに車についているツールを使って、コミュニケーションをすることもあります。たとえば、パッシングをして道を譲ってあげたり、クラクションをピッと鳴らして「ありがとう」とお礼をいったり。そういうちょっとした挨拶は日常的に道路でも行われています。

また、通常、生活していて相手に伝えたいことがあると、早めに教えてあげよう、と思います。道路でも同じ。進路変更の方向指示器は早めに出すことも大事です。

運転はいろいろなものに影響される



運転は、その時の気分や車内の状況、アルコール(飲酒)、薬物などさまざまなものに影響されるんだよ。
運転に自信があるからといって油断は禁物！

まとめクイズ

Yes、Noのどちらかを選んでください

Q1. ビールなどアルコール度数の高くない酒類は
コップ2杯までなら飲んで運転しても
罰せられない。

Yes **No**

Q2. 車内でお気に入りのCDのボリュームを
上げて聞くことはストレス発散になり、
窓を閉めていれば他の車の
迷惑にもならないので、いいことづくめだ。

Yes **No**

Q3. 気持ちが浮わついていたり、
時間に余裕がなくて焦っていると
「不注意」や「見落とし」を招きやすい。

Yes **No**

Q4. 車は友達との友情を深める道具でもあるので、
同乗している友達から
「もっと速度を上げて追い越せ」といわれたら、
ついその通りにしてしまう。

Yes **No**



→解答は次ページに！



まとめクイズの解答と解説

Q1. No

道路交通法では、たとえ少量のアルコールでも飲酒運転は厳しく罰せられます。

- ・酒酔い運転

5年以下の懲役又は100万円以下の罰金
違反点数35点

- ・酒気帯び運転

3年以下の懲役又は50万円以下の罰金
呼気1リットル中 違反点数
・0.25mg以上 25点
・0.15mg以上0.25mg未満 13点



急ぎや焦りの気持ちが危険をまねきます

Q2. No

お気に入りの音楽は、渋滞しているときなどは気持ちをリラックスさせてくれますが、ボリュームを上げすぎたり、音楽に没入すると、交通状況の変化などを見落としてしまう危険があります。

Q3. Yes

気持ちが浮ついていると、運転に集中できなくなったり、誤った判断をしがちです。時間に余裕がないなど、焦っていると、冷静な判断ができなくなり、無理な進路変更、速度の出しすぎなど危険な運転をしてしまいます。

Q4. No

友達とのドライブは確かに楽しいですが、安全運転が第一。友達の命を預かっている、ということを意識した運転をしなくてはいけません。雰囲気に流されて、あとで後悔するようなことをしてしまっては、元も子もありません。

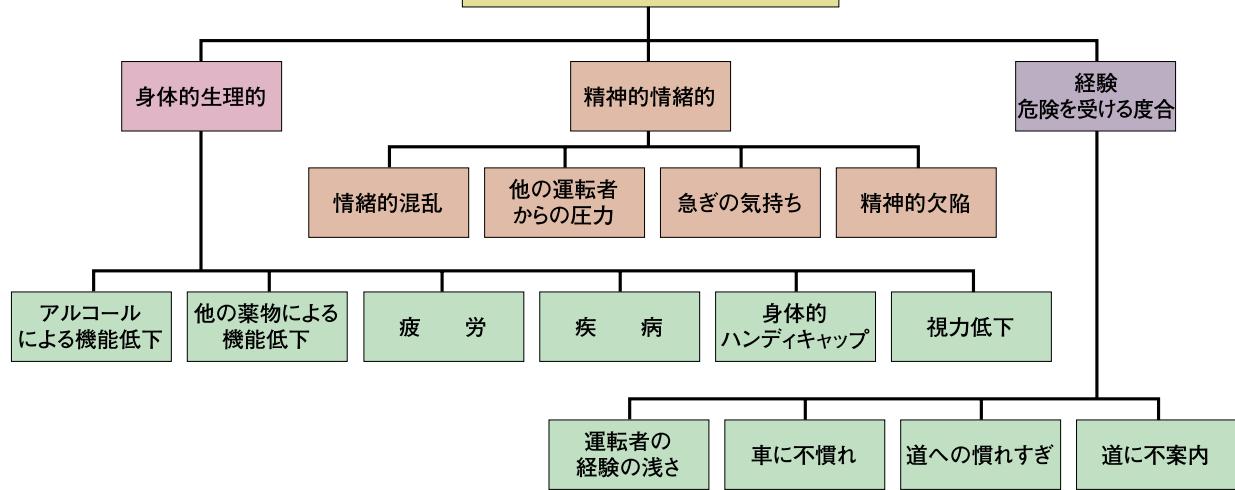
コラム 1

事故につながる「人」の要因

急ぎの気持ちやイライラも事故の原因になります。

図1 事故原因となる人の状態
および状況の図(トリート1977)

事故の原因となる人の状態及び状況



●交通事故の要因で一番多いのはヒューマンエラー

ふだんの生活から、安全意識を育てよう。

運転する「人」が安全の鍵を握っている

交通事故は、人間と車両と道路環境（周りの車、道路、天候など）の3つの要因が絡まって起きます（下図）。

たとえば運転中に突然ブレーキが効かなくなってしまう事故は、メカニズムや材質に問題があれば車両的要因、運転者がブレーキオイルの補給を忘れていればヒューマンエラー（人間的要因）で起きたことになります。

ヒューマンエラーで多いのはドライバーによる「よそ見」や「安全不確認」、「見落とし」、「スピードオーバー」などがあり、事故の90%を占めているといわれています。

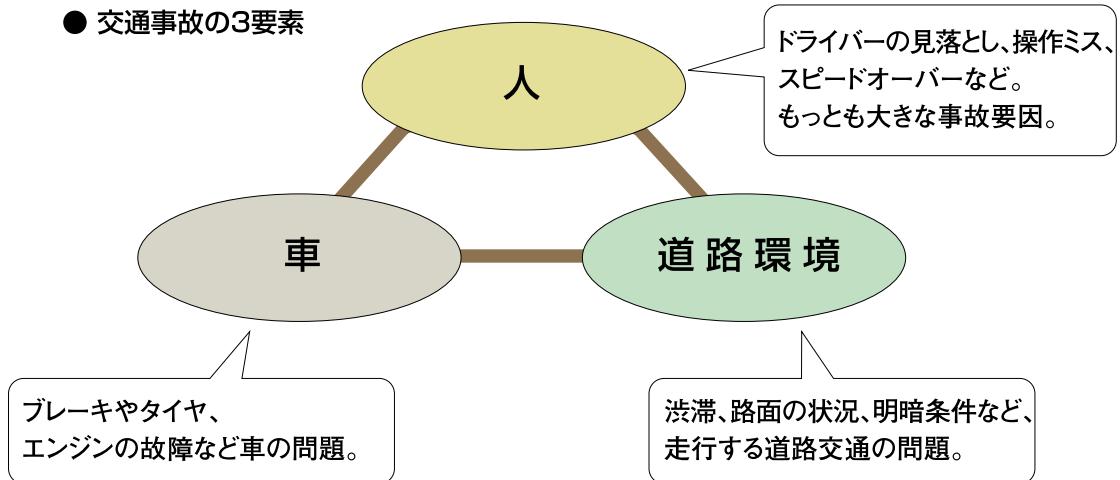
ヒューマンエラーが多いというのは、いいかえれば運転する人が安全の鍵を握っているということになります。

新入社員に運転トレーニングをするわけ

企業などに就職するとき、普通免許を持っていることが条件になることがよくありますが、入社後の新入社員教育の中に、運転トレーニングを取り入れているところが少なくありません。輸送業界はもちろんですが、それ以外の企業でも同様です。

普通免許を持っているのに、なぜ入社後改めて運転トレーニングをするのでしょうか。人の要因による事故を減らすことが大きなねらいです。

● 交通事故の3要素



コラム 2

運転には普段の生活が出る

外国の研究者が「人はふだん生活するように運転する」と半世紀以上前に指摘しています。

仕事で車を使っている企業では、車内が汚れていたり、散らかっている社員ほど、運転ミスが多い傾向があると指摘しています。

優良ドライバーを調べたある研究者は、知能指数、身体能力は他の運転者と変わらないが、その人々は、職場では信頼があり、忠実で、まじめで、注意深く、よく働く社員、家庭でも同様の特徴を持つ夫、父だったと報告しています。

運転は人間性とかかわっているということです。



新聞や本などの資料、インターネットなどを使って、調べて考えてみましょう

- ・家族や知人の運転する車に乗っていて、ふだんの性格が出ているなあ、と思うところや、思いがけない一面を知った、という経験はありますか？ どんなところがそうでしたか？ →
- ・自分を冷静に見て、どんなところが車の運転に向いていて、どんなところが向いていないと思いますか？ →
- ・将来就きたいと思っている職業に、車の運転が必要かどうか調べてみましょう。一般企業でも営業職などで運転免許が必要な場合がよくあります。 →



MESSAGE

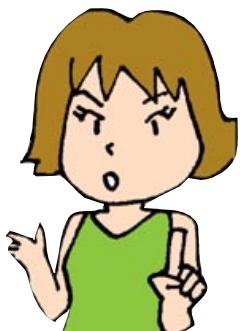
運転は「手足」でなく、「頭」でするもの

岡村和子 警察庁科学警察研究所 交通科学部交通科学第2研究室 主任研究官

運転とは、ブレーキやアクセルを踏む、ハンドルを回すといった「操作」のことを指すと思いませんか？もちろん、安全に運転するためには、ブレーキ操作、ハンドル操作といった基本的な動きが適確にできることができが不可欠です。しかし、器用に操作できること、高い身体能力があることイコール安全で成熟した運転ができるということにはなりません。むしろ、急ブレーキを踏むとか、ハンドルを切るといった具体的な操作に入る前の段階である、「認知」と「判断」の過程の方が、事故予防の観点からは重要です。

考え方や脇見をしていたことによる発見の遅れや判断の誤りといった認知エラーをおかさないためには、自分自身の体調管理や心理状態の把握ができること、周囲の人の発言や他のドライバーの動きに流されず冷静な状況判断ができるなどが要求されます。つまり、自分の行動がもたらす結果とそこに潜む危険性を知り、自分自身の行動をコントロールすることが求められているのです。

友達を車に乗せるということは、友達の命を預かるということ



とくに免許を取得して間もない頃は、事故を起こしがち。友人や後輩にドライブに連れていくって、と誘われても「まだ運転に慣れてないので」と断る勇気を持とう！

まとめクイズ

Yes、Noのどちらかを選んでください

Q1. 寝不足で体調が悪いのに友達にドライブに誘われた。免許と車があるので
ドライバー役を引き受けてしまった。

Yes **No**

Q2. 友達を自分の車に乗せるときは、助手席はもちろん、後部座席でもシートベルトを着用するよう頼む。

Yes **No**

Q3. 人身事故を起こしても、運転者が20歳未満なら責任を問われない。

Yes **No**

Q4. 乗せていた友達に「もっとスピード出そうぜ」とあおられたため、事故を起こした。
責任は100%あおった友達にある。

Yes **No**



→解答は次ページに！



Q1. No

自分の体調が悪いときにはきっぱりと断りましょう。無理をして事故を起こした後では遅いのです。道路交通法第66条には「……過労、病気、薬物の影響その他の理由により、正常な運転ができないおそれがある状態で車両等を運転してはならない」とあります。

Q3. No

20歳未満であっても、刑事、行政、民事の3つの責任が問われます。

刑事责任については判決後、刑務所の代わりに少年院入所、執行猶予の代わりに保護観察となる点が大人とは異なります。

**同乗者にあおられても、
無理な運転は
しないことです。**

Q2. Yes

後部座席もシートベルトの着用が義務づけられています。後部座席の人がシートベルトをしていないと、事故の衝撃で車外に投げ出されたり、車内を移動して運転席や助手席にぶつかって前席の乗員の被害を大きくすることがあります。

Q4. No

事故の責任はあくまでも、同乗者のあおりを受け、それに従った運転者にあります。ただし、同乗者にも責任の一端はあります。



コラム 1

同乗者の責任が問われることがある

ふだんの生活で、友達や知り合いの車に乗せてもらうことを「無償同乗」「好意同乗」と呼んでいます。同乗者の乗車中の事情によって、保険金が減額されることがあります。

- ・運転者が飲酒運転であることを知っていて乗せてもらった
 - ・運転者がスピードを出しすぎていたのを知っていて、何もいわなかつた
 - ・運転者をあおってスピードを出させた
- などの場合です。

●同乗者が死傷すると、運転者に加害責任が発生する

人を車に乗せるときにはすべきこと。

高校生でも刑事責任が発生する

車の免許を取得したら、友達や後輩を乗せてドライブにも行けるし、行動範囲は広がり楽しいことばかり、と考えがちです。しかし高校生でも、友達を車に乗せていて、自分が第1当事者（加害者）として事故に関わり、友達を死傷させたら、運転者として3つの責任を問われます。「民事責任」としては、損害賠償が大人と同様に請求されます。「行政責任」としては、免許停止や免許取り消しになることもあります。「刑事責任」としては、高校生でも裁判に立ち会わないといけません。さらに、事故を起こした自分自身、家族、そして関係者などに、その後も深い傷跡を残すことになります。



事故を起こして同乗者にケガをさせると、運転者は加害者になります

同乗事故を起こさないために

運転経験の少ない初心者のうちは、交通事故を起こしやすい傾向があります。

人を乗せるときには、以下のことを心がけましょう。

- ・同乗者にケガをさせないよう、必ずシートベルトを着用してもらう。
- ・運転の責任はあくまでも運転者にあり、同乗者のいいなりにならない。
- ・運転中、同乗者のほめ言葉やはやしたりする言葉がどれくらいドライバーに影響するかを知り、常に気持ちをコントロールすることが大事。
- ・騒ぎそうな友人を乗せるときには、「運転の妨げになることはしないでくれ」と伝える。
- ・疲労や風邪など身体のコンディションがよくないときは、運転をしない。

コラム 2

自分の運転する車で事故を起こし、同乗者にケガを負わせた場合の同乗者の責任など

●刑事责任

運転者は、人身事故を起こしたことで、20歳未満の場合は、検察庁から家庭裁判所に送られ審判を受けます。罰金以上の刑に処せられれば、将来の進路などにも大きく影響します。

●行政責任

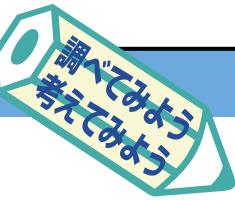
場合によって、運転者は免許取り消しとなることがあります。

●民事責任

運転者は、高校生でも大人と同様に、同乗者側から損害賠償を請求されます。賠償金が保険でカバーできない高額の場合は、支払い能力のない高校生では、親が負担するケースが多くなっています。

●「自分のせいでケガをさせた」という精神的な負担

事故の後遺症に苦しむ友人やその家族の怒りなど、精神的な重荷を一生背負っていくことになります。



新聞や本などの資料、インターネットなどを使って、調べて考えてみましょう

- ・家族や、知り合いの車に同乗して、「こわい」と思った経験はありますか？ それはどんなときでしたか？



- ・将来車の免許を取得したとして、「この人は同乗させたくないなあ」と思う人はどんな人ですか？



- ・あなたがもし車の免許を取得したら、すぐに誰かを同乗させますか？



M E S S A G E

大きな困難は事故の後にある

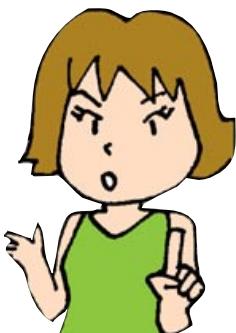
高山俊吉 弁護士

私は高校生が運転中に事故にあい、同乗者を死なせてしまったという事件をいくつも担当してきました。事故は一瞬で終わってしまいます。しかしその瞬間から世界が、人生が変わります。

同乗者が亡くなると、運転者は加害者となり、刑事責任が問われ「前科者」となります。人を殺すということを人生の始まりの時期に経験してしまうというのは、経験にキズがつくだけでなく、自分自身にとって生涯忘れられないキズがつきます。車に関わる生活に入るということは、果たすべき責任があるということです。「給料をもらってないから一人前じゃない」といったことを世の中の誰も許してくれない世界に入っていくことです。

運転者も同乗者も両方死亡してしまうという事故もあります。加害者としての責任は親に相続されますが、同乗者の遺族は、運転者の遺族に、四十九日も過ぎないうちに賠償請求をする。ここから親同士の壮絶な戦いが始まります。死んでしまった運転者は別に苦しみはないが、残された家族、相手の家族がどんなに苦しむか、その大きさを高校生のみなさんには肝に銘じてほしいのです。

車の速度と自己過信(四輪車)



見通しがよく、すいている道路だと、運転経験の少ない初心運転者でも、ついスピードを出したくなりがち。だけど、スピードの出し過ぎによる事故がどんなものかを思い出し、スピードを出したい気持ちをコントロールするように!

まとめクイズ

Yes、Noのどちらかを選んでください

Q1. 交通量も少なく、見通しの良い広い道路では、
決められている最高速度より
多少オーバーしても違反にはならない。

Yes No

Q2. 20km/hで走っていた車同士が
正面衝突した場合の衝撃であれば、
車に乗っている人は自分の体を瞬間的に
手足で支えられる。

Yes No

Q3. 免許取得してまもない若者は、
自分の運転能力を実際以上に過信し、
無理な運転をしがちである。

Yes No

Q4. 免許取得後1年以内は初心者として、
事故を起こしても罰せられない。

Yes No



→解答は次ページに！



まとめクイズの解答と解説

Q1. No

その道路区間ごとに最高速度が定められています。最高速度をわずかでも超過すると、違反になります。

Q3. Yes

例外もありますが、若者には、高速走行を「快感」だと感じ、それに伴うリスクにあまり目を向けない傾向があるといわれています。運転経験を積み重ね、ヒヤリハット体験から学んでいくことで、こうした傾向を克服していきます。

Q2. No

衝突したとき、人間が瞬間的に支えられるのは、7km/hくらいです。7km/hとは自転車で走る速度にあたります。

Q4. No

免許を取得したその日から、初心運転者、ベテランドライバーの別なく、違反すれば罰せられます。運転免許取得後1年未満の初心運転者が一定以上の違反をしたり、事故を起こすと、より厳しい処罰が課せられます。



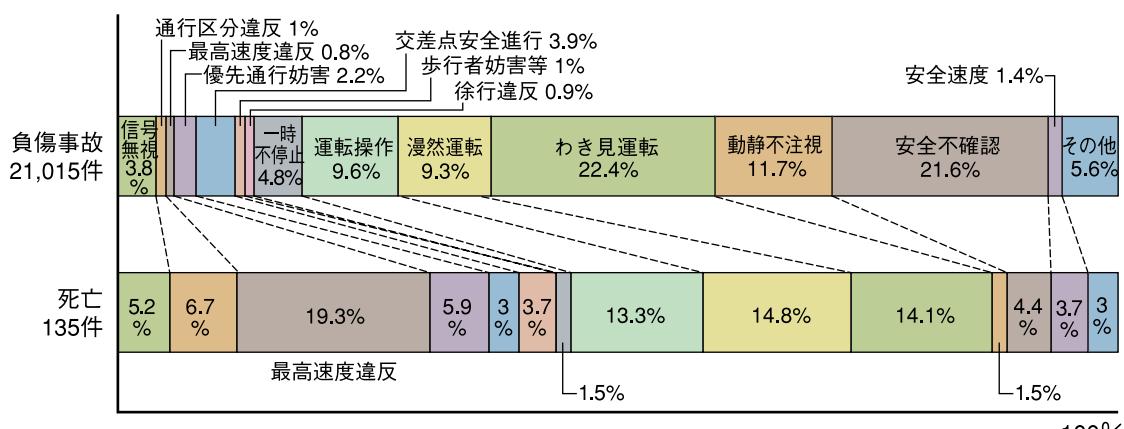
スピードが高くなるほど、
リスクも高くなることを
忘れないで。

コラム 1

死亡事故の原因のトップは最高速度違反

負傷事故ではわき見運転、安全不確認など「不注意」による違反が中心ですが、死亡事故の原因のトップは、「最高速度違反」によるもので19.3%をしめています。

グラフ1 四輪車運転中の18~19歳の法令違反(1当)



*第1当事者:加害者

(財)交通事故総合分析センター 平成20年

●若者に多い、オーバースピードによる事故

自己過信が招く恐ろしい事故をなくすために。

死亡事故の原因のトップは最高速度違反

若者の死亡事故の特徴は、「最高速度違反」によるものが多い、ということがわかっています（コラム1）。

ある意識調査によると（グラフ2）、若者は「広い道路では思い切り速度を出してみたい」「スピードを出せば出すほど快感を感じる」と思っている人が半数を超えていました。そして、道路条件などから見て、コントロール不可能と思えるスピードで走行し、事故を起こしているのです。

スピードのリスクについて改めて考えよう

免許取得後まもない若者に多いオーバースピードでの事故には、

- ・高速でも車をコントロールできるという自己過信がある

- ・道路交通法などルールを守らなくていい、という挑戦的な気持ちがある

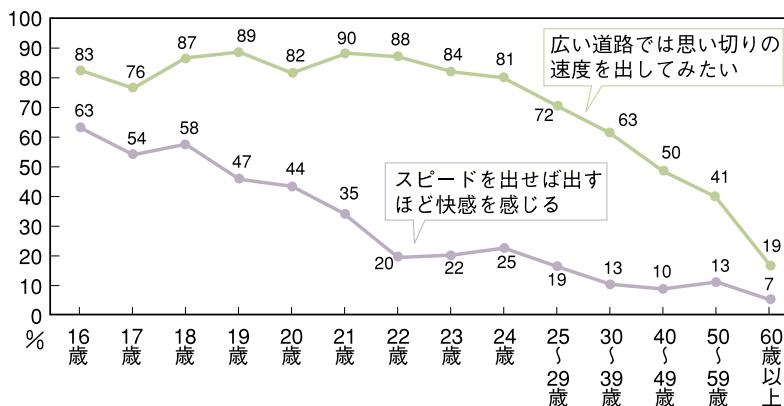
- ・高速走行の経験がまだ少ない

- ・速度を出しすぎた結果、何が起こりうるかについて正しい知識がない

という共通点があります。天気の良い日にすいた道路で、スピードを出すのは気持ちのいい行為かもしれません。しかし、その分確実に「リスク」も高くなるのだ、ということを覚えておきましょう。

また、「約束の時間に遅れそう」なときにも、スピードを出してしまいがちです。常に時間に余裕を持って車を運転するようにしましょう。

グラフ2 年齢層別速度に対する意識



（財）日本交通安全教育普及協会発行
「人と車」2002年9月号
運転者教育講座
長山泰久大阪大学名誉教授

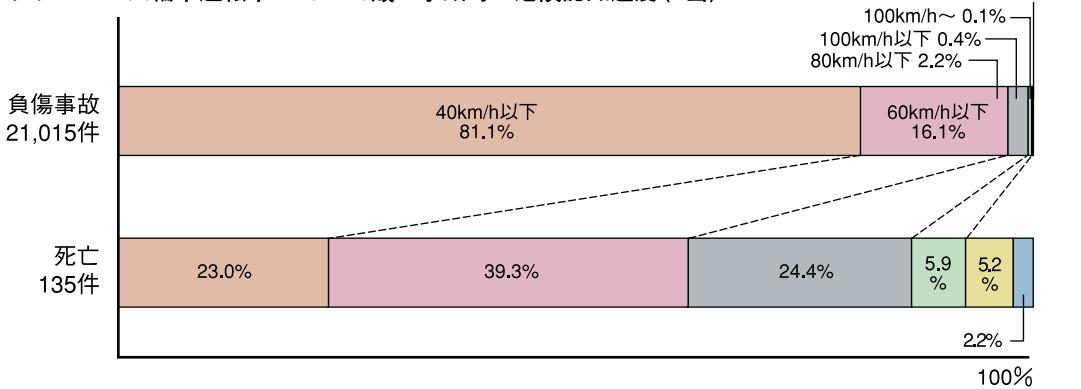
コラム2

スピードと事故の関係

危険認知速度とは、事故直前の車両の速度のことです。

負傷事故では40km/h以下が約81%を占めるのに対し、死亡事故では40km/hを超えるケースが約75%あります。死亡事故は高いスピードで起きていることがわかります。

グラフ2 四輪車運転中の18~19歳の事故時の危険認知速度（1当）



（財）交通事故総合分析センター 平成20年



新聞や本などの資料、インターネットなどを使って、調べて考えてみましょう

- あなたがよく使う道での四輪車の制限速度を調べてみましょう。 

- ・自分は人より上手に運転できるに違いない、と思っていますか？ 思っている場合はなぜそう思うのですか？ また、思わない場合はなぜそう思わないのですか？

- あなたが車の運転をしているとして、自分は次のどちらのタイプだと思いますか？
1:前に遅い車がいたら、どんどん追い抜いていく
2:遅い車がいたら、理由があって遅いのだと考え、追い越さないでしばらく様子を見る



法定速度を守れば起きなかつた事故

恒成茂行 熊本大学医学部教授

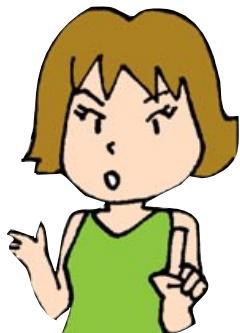
MESSAGE

私は法医学者として、殺人や交通事故など不幸な死にあった方々のご遺体の解剖をしてきました。その中で、どうしてこういうことで大事な命を落としてしまうのだろうと、憤りを感じるような若者の交通事故死に何件も関わりました。

若者の死亡事故の最大の原因是スピードです。それも並ではないスピードです。原付を運転中、カーブを曲がりきれずに道路脇のブロック塀に激突して亡くなった16歳の男子高校生の場合は約80km/hでした。正面からはわからないのですが、頭の骨が折れ、後頭部が平らになっていました。バイクがカーブを曲がるときに遠心力が働きますが、スピードが速すぎると、遠心力に耐えられなくなり、放り出されます。それで、男子高校生は壁に激突したのです。

交通事故で死にたくない、と思うなら簡単なことです。道路交通法で定められたスピードを厳格に守ればよいのです。

この画面の中にどんな危険がありますか？（四輪車運転中）



事故を起こさない運転に必要なのは、
車を操作する運転技術とともに
社会人としての自覚と、
常に危険を予測できる能力です。

復習問題

友達や家族の方とやってみましょう。

急ぎの仕事で、高速道路を走っています。(2車線、最高速度制限:100km/h)
左の走行車線は車の流れる速度が遅かった(80km/h程度)ので、
追い越し車線に移り速度を上げたところ、先行車に追いつきかかっています。
前方には、右カーブが見えてきています。



Q1. ご両親など、社会人で運転経験のある方に、この場面でどんな危険があると思うか聞いてみましょう。

Q2. ご両親など運転される方に、どのようなときに事故の危険を感じたかを聞き、社会人としてどのような行動をとればよいか、みんなで考えてみてください。



→解説は次ページに！

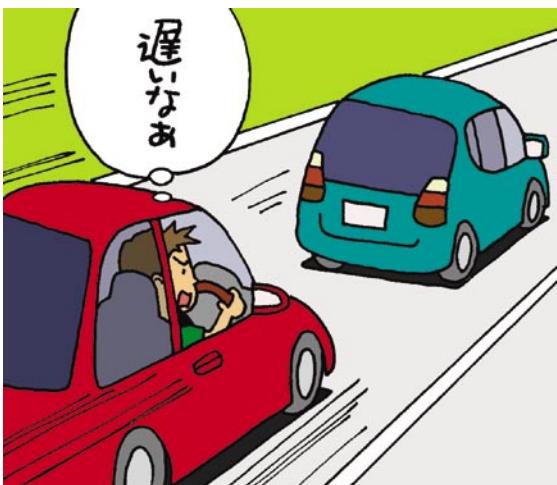


復習問題の解説

この問題の状況には、以下のような「見える危険」と「見えない危険」があります。

社会人として運転経験のある人は、日ごろどのような点に気をつけて運転をしているのか、「見える危険」「見えない危険」をどのように見つけて回避しているのか、などについて話しましょう。

●見える危険



先行車の急な減速で車間距離が急につまる

【見える危険】

①先行車との車間距離がつまりすぎているという危険

先行車が何かの理由で急に速度を落とした場合、止まりきれずに追突してしまう危険があります。通常、100km/hで走行している場合、安全な車間距離は100mです。

②先行車にばかり視線が集中してしまうという危険

目前の先行車にばかり気を取られ、先行車の前方や走行車線の車の動きに目がいかなくなる可能性があります。たとえば、前方が渋滞している場合、車の流れが遅くなったり、ハザードランプを点滅させて後続車に渋滞を知らせてくれる車があったりしますが、これらの情報を見落としがちです。

③運転しているドライバー(あなた)の気持ちの中の危険

焦ったり急いだりしているときは、危険情報を見落としたり、判断ミスをしやすくなります。

④先行車のドライバーの気持ちの中の危険

先行車に進路を譲ってもらおうとパッシングライトを使ったり、プレッシャーをかけるように追い上げると、先行車のドライバーは焦りや怒りから、危険情報を見落としたり、判断ミスをしやすくなることが考えられます。

【見えない危険】

①近づいているカーブの危険

カーブの手前ではブレーキを踏んで減速するドライバーが多くいます。とくに、カーブがきついほど、ドライバーは速度を落とします。この位置からではカーブの曲線はよくわかりません。

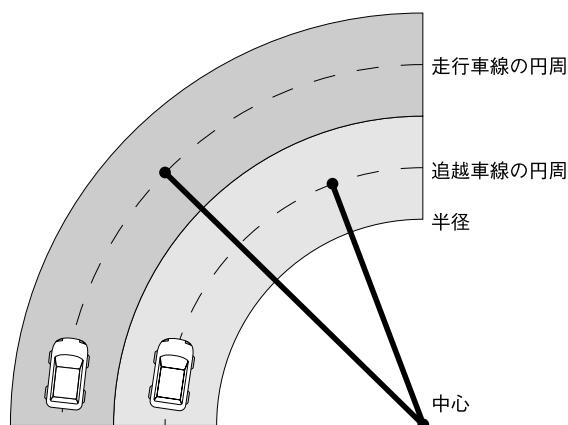
②カーブ曲線のきつさがわからないという危険

カーブに入るときの速度が速すぎると、曲がりきれずに進路が外側に膨らんでしまうことがあります。また、そのときにあわてて急ブレーキを踏むと、スリップしたり横転する危険もあります。とくに雨などで路面が濡れているとスリップの危険は高くなります。右カーブの場合、走行車線よりも追い越し車線の方がカーブがきつくなっています(左図)ので、さらに注意が必要です。

③カーブの中の状況が見えないという危険

カーブの中に入るまで、カーブの中の状況が見えません。急に車の流れが遅くなっていたり、道路に障害物が落ちていたりする可能性もあります。

●見えない危険



カーブのきつさは、カーブに入らないとわかりません。
右カーブでは、追い越し車線の方がカーブがきつくなっています

●「危険を予測する」ことの大切さ

危険を見つけだし、適切な判断や対応をするには余裕が必要。常に先を読み、適切な速度や車間距離を選び、運転をすることが大切です。

若者の死亡事故と最高速度違反

コラム1のグラフは、死亡事故の原因の1つとなつた主な違反を、年齢層別に見たものです。16~19歳の場合、「最高速度違反」が5分の1を占めていることがわかります。

また、実際の事故では、「最高速度違反」の他、「わき見」や「前方不注意」、「動静不注視」、「安全不確認」などの違反が多くなっています。

スピードが速いほど、判断や操作ミスの影響が大きくなる

安全運転のためには、危険を見つけだし、それを回避するために適切な判断をすることが不可欠です。しかし、スピードが速くなると、ほんのわずかな時間のわき見の間にも車は何十mも進みますから、見落とす情報量は増えます。判断するための時間も短くなり、焦りは正常な判断や操作を狂わせます。そして、ほんの少しの判断や操作のミスが、スピードが速い大きな



危険を予測し、回避するための判断力が大切

エネルギーを持った車の場合、大きな事故につながるのです。

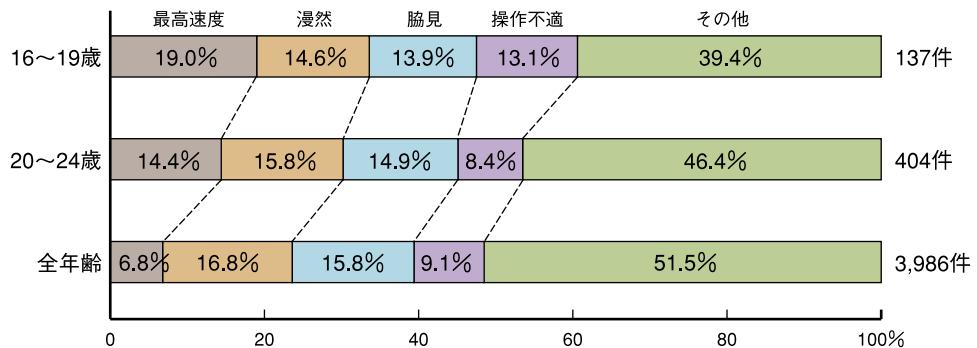
社会人として責任を持った安全運転のためには、まず危険を危険として気づく知識を身につけ、さらに、その知識を正しく生かす速度や車間距離を保って走ることが大切です。

コラム 1

死亡事故とスピードの関係

16~19歳では、死亡事故の原因となつた違反の5分の1は最高速度違反です。

グラフ1 自動車など(原付以上)運転者の違反別・年齢層別死亡事故件数(1当)



※1 当:加害者

(財)交通事故総合分析センター 平成20年



新聞や本などの資料、インターネットなどを使って、調べて考えてみましょう

- ・車の運転は、その職業にどのように関係している →
か考えてみましょう。

- ・万一、あなたが仕事中に車で事故を起こしたら、 →
どこにどんな影響があるか考えてみましょう。



車の運転は知識だけではできない

堀内武徳 堀内経営研究事務所 所長

MESSAGE

免許さえあれば、車の運転さえできれば、職業ドライバーになれると思っている人もいるかもしれません。とんでもない。たとえばトラックドライバーの場合、事故を起さない運転、地球環境に貢献できる運転が求められます。さらに、荷物を積む、積んだ場合の措置、輸送中の荷物に対する配慮、到着してからの荷物の降ろし方、お客様との接し方、すべてを1人で行わないといけません。一人前の職業ドライバーになるには、3年かかります。

もし、ドライバーが事故を起こしたらどうなるでしょう。企業は収入を得るどころか、信用を失います。信用を回復するには大変な時間を必要とします。運送会社にとって、信頼できるドライバーをいかに育てるかが大切なのです。

会社内の仕事ならば、何かあればその場ですぐに相談できますが、車の場合、いったん運転を始めたら、すべて自分の責任でさまざまな状況に対応しなければなりません。十分に責任を果たせる人材にしか、車を与えることができないということです。

生徒用配布資料

